京城日報
二十八日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)
本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢△郵稅一ヶ月金拾五錢 △前金に限り△三ヶ月分金 △郵券代用は二割增
廣告料金 △五號活字十五字詰一行 △七字詰一行 △四號 △特別
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 電話番號 編輯用 三四五番 營業用 二六一番 振替貯金口座京城三六〇〇番
發行兼編輯人 印刷人 小川三之助

總督告辭

二十八日擧行せる水原農林學校卒業式に於て釜屋武官の代讀せる長谷川總督の告辭左の如し

朝鮮總督府農林學校卒業生諸子諸子多年研鑽の功を積み今や出でて實務に從事せんとす誠に慶すべきなり

惟ふに朝鮮に於ける農林事業は漸次實績を擧ぐるに至りしと雖も而も改善進步の餘地頗る多し此の時に當り諸子は各修得したる所を以て業務に從事せんとす其責任たる頭且大なりと謂ふべし諸子宜しく此の意を體し身を實業に委ぬると職を官公衙に奉ずるとを問はず勤勉事に從ひ誠實人に接し常に同僚郷黨と一致協力し以て斯業の發達に努め邦家の隆昌に貢獻せんことを期すべし是れ本校教養の效果を完ふし勅語の聖旨に奉答する所以たり諸子夫れ旃を勉めよ

安危の決 近き將來に懸る

獨軍の目標とするところはアミアンなる事疑ひを容れず獨軍にしてアミアンを陷落せんか我北方戰線を威嚇し海峽諸港を攻撃し巴里危險に陷るやも知れず眞個安危の決は近き將來に懸かる(倫敦電報)

獨飛機巴里攻撃

獨軍は長距離砲より巴里砲撃を爲せるが獨逸飛行機は同時に巴里の空中攻撃を開始せり(巴里電報)

パポーム陷落公報

廿五日午後獨逸公報はパポームを陷落せる旨を報せり(倫敦電報)

西部戰線獨軍死傷九萬

二十一日來西部戰線に於ける獨軍の死傷九萬を算せり(倫敦電報)

墺戰時勞役法案

墺國政府は戰時勞役法案を議會に提出せるが男子は十七歳より六十歳まで女子は十九歳より四十歳まで總て強制勞働義務を有するにあり(ベルン電報)

過激派滿洲里來襲か
支那軍隊滿洲里急行

滿洲里方面にあるセミヨノフ軍は西伯利哥薩克軍と共に二十四日シヤラスーンに於て過激派と激戰哥薩克軍は糧食缺乏の爲め過激派に投ずるもの多く從つてセミヨノフ軍の形勢不利となり過激派は勢に乘じて滿洲里方面に來襲せんとする虞あるを以て目下同地附近の住民は非常に恐慌を來し居れり依つて張鞶備總司令は黑龍江省督軍に對應策の指示を請ひたるに鮑督軍は此際國法上露國の內亂に干渉せざる範圍に於て國境の防備を嚴にし一歩たりとも支那領土を侵す時には適宜の處置を執る可く電命し同時に砲兵步兵約七聯隊を滿洲里に急行せしめたり(奉天特電)

獨オデツサ不撤退通牒

獨逸は露國に對し通牒を發して曰く『オデツサは小露西亞領土內にありと思惟するを以て同地を撤退する能はず』と(倫敦電報)

過激派船舶進出防止

支那官憲は過激派の船舶が黑龍江より松花江に進出し來れるを防がん爲め砲兵を配置す可しと(哈爾賓特電)

砂糖空前高値

連日奔騰を續け居たる砂糖は製糖二十六圓五十錢分蜜十五圓五十五錢賣出しを發表し空前の新高値に躍進せり(大阪特電)

吉林省長北行

吉林省長(兼東清鐵道督辦)郭宗熙氏は二十六日夜北京より來奉北行せり(奉天特電)

小池中將旅順行

憲兵隊司令官小池安之中將は四月一日嘉義丸にて來連直ちに旅順に向ふ筈(大連特電)

日支聯絡會議參列者

日支聯絡會議參列の爲め京奉線顧問ブオーレ氏外五名二十七日午後五時半來安新義州ホテルに一泊廿八日朝發京城一泊二十九日滿鮮直通にて內地へ向ふ筈尚同行の豫定なりしヘンダーソン氏は三十日北京發朝鮮經由內地へ向ふべしと(安東特電)

川上理事歸任期

哈爾賓へ出張中なりし川上滿鐵理事は二十九日歸任の筈(大連特電)

政務總監歸期

東上中なる山縣政務總監は第四十帝國議會も既に終了せるを以て來る四月十日頃東京出發歸任す可き旨遠藤秘書官より某所へ宛て通信ありたりと

對支貿易(一)
營口の築港
阪谷男一行中 古閑次郎氏談

阪谷芳郎男一行中の支那通古閑次郎氏往訪の記者に語つて曰く

私は支那に行つてから六年になるが初め天津に赴き其れから北京、上海、營口等に居つたが營口と言ふ所は御承知の通り運賃の特定率其他に關する三線聯絡問題等の喧ましかつた處であるが要するに此の營口を通じて滿蒙與地支那內陸に至る迄日本の貨物が

▲盛んに流入 されてゐるからして營口に於る貿易の向上及び築港遼河口の浚渫事業と云ふ二つの問題は私が最近五箇年の間に親しく經驗し且つ實見した問題である元來營口の築港は工費六十萬圓で一切の工事を英人技師に依囑し遼河口に於けるバー(河中に土砂の推積したるもの)を排除して浚渫するに在る其の結果は未だ豫測する事は出來ないが工事は隨分困難らしい、元々營口は其の港灣淺く大船を碇泊せしむる事が出來ない今迄三千噸級位の船舶でも精々十二呎若くは十二呎半迄を最大限度とする

▲吃水程度に しか荷物の搭載を爲す事が出來なかつた、其れで此所では荷主は多く十二呎位の吃水に至る迄貨物を積載し再び大連で滿船に達せしめ然る後南洋滿洲方面への輸出を爲すを常としてゐるのであるところで築港計畫に據ると十八呎位の吃水に至る迄差支の無い程度に浚渫しようと言ふのである私は其方に對する有識者ではないが工事に隨分困難の伴つてゐる事は前について述べた通り明かである而して此の問題に關しては初め支那では技師が無い爲めに困つて居つたが日本側では日本人技師に

▲依囑せしめ ようとする英國側では英人技師に依囑せしめようとする其所に多少の競爭が起つたやうであるが結局英人技師に工事を依囑し既に先年から著手して居るのである而して近時支那に於ける日本の貿易額が年々增加の傾向を示し從つて支那に於ける日本の勢力が漸次高まつて來たが其れと同時に支那自身も日本人に相當の敬意を表する樣に成つて來た之れは全く日本が先年露國に勝ち獨逸に勝ち而も其の貿易額が年々激增するに至つた結果であらう現今に於ては日本の勢力は他の英米等に劣らぬ程度迄支那人間に認められて來た單に支那人のみならず英人間にも同じ事である

鮮銀券一億圓說
母國金融界の前途は緊縮傾向
朝鮮銀行理事 三島太郎氏談

二十七日夜東京より歸京せし鮮銀理事三島太郎氏は曰く

▲鮮銀法改正案 の議會通過で鮮銀券保證準備發行の限度三千萬圓が五千萬圓に擴張され、信託業務の開始をもやり得るやうになつたから銀行の活動力は殖ゑて來た譯だ、鮮銀券は目下の所六千三百萬圓內外の發行高を示してゐるが、此の狀況で鮮滿の財界が發展膨脹して行けば大正十年には多分一億圓位發行高を見るだらうと豫想してゐる、尤もそれまでに戰爭が終結し戰後の恐慌時代でも現出するやうになれば若干收縮するかも知れぬけれどそれはホンの一時的の現象で又復直ちに膨脹して行くだらう、元來鮮銀券

▲膨脹の前途 と云ふものは日本銀行兌換券などとは大分趣きを異にしてゐる、何故と云ふに日銀の兌換券は一定の地域の間に流通し其增加は專ら財界の推移に基因するのである、鮮銀券も素より鮮滿財界の推移により膨脹し收縮するのは日銀兌換券と同樣であるが、異なる所は流通範圍が漸々滿洲蒙古の內陸方面に自然的に擴まつて行き又銀行營業所の增設により人爲的にも擴大される事である、乃で此の狀勢一つで或は豫想以上に發行高は殖ゑて行くかも分らないのである、保證準備發行限度の擴張が鮮銀の收益狀態を從來より良好ならしむる事は事實であらう、然しそれと同時に鮮銀としては

▲鮮滿の開發 と云ふ事に就て出來る丈けの力を盡さねばならない、信託業務の開始は屢々お話しした如く先づ事業會社の發行する社債の引受應募を行ふ位に留まるであらう、又副總裁の新設を見るやうになつたが副總裁は政府で設けられたので如何なる人選をされるか予輩も全く與り知らない、唯副總裁の新設に伴ひ東京に總裁若くは副總裁を置くやうになるだらうとの說が政府筋より出たかのやうに一時傳へられてゐたけれど、それは事實無根で當分は一理事の駐在に留まるのである、大藏大臣も總裁若くは副總裁を東京に留めて置く如き意向は有して居られぬ樣である、唯總會若くは色々の要件で東上する事は今後も續くであらう

▲母國金融界 の前途は大勢として緊縮に傾むくものゝ如く想察せらる、何故なれば戰局の前途は豫想し難いが、事實となるや否やは姑らく措き西伯利亞出兵問題の如き財界の不安を來さしめてゐるやうだ、對外貿易も制限やら禁輸やらその他の事情により前年の如く好調でなく出超々々と云ふ譯に行かない、露國方面との通商は殆んど杜絕の狀態にある、從つて正貨の流入も多くを見れない生絲の如き昨今多少高値を見せてゐるが前途樂觀ばかりはしてゐられぬらしい少なくも昨年程の好況を現出すべしとは思はれない、有力筋の對露賣込商品代金の回收などもどうか解決はつくだらうが兎に角財界の一問題である、之等の事情は母國有數の事業會社の手を緊縮させてゐるのは周知の事實で財界の變移に伴なひ事業界も放漫な擴張時代より手控へ時代に入りつゝあると稱して差支へないやうである

通信收入概況

大正七年二月分通信事業收入は二十八萬二百三十七圓にして豫算に比し四萬七千九百五十九圓(二割一分)を超過し前年度同月分の收入に比すれば六萬二千七百四十三圓(二割九分)を增收せり又二月迄の收入累計は四百十三萬九千八百三十圓にして豫算を超過すること五十萬六千二百八十六圓(一割四分)前年度同期の收入に比し六十三萬九千八百五十六圓(一割八分)の增收となれり

印紙收入概況

大正七年二月分印紙收入は三十五萬三百三十圓同月迄の累計は三百七十七萬四千七百七圓にして前年度同期の收入に比すれば二月分は八萬二千九圓累計に於て百二十五萬三千四百八十三圓を增收せり

遞信局異動

二十七日附を以て左の如く異動あり

遞信局事務官監理課長 島田志郎
遞信局通信課長を命ず
總督府海員審判所理事官を命ず
普通文官試驗委員を命ず
朝鮮彙報編纂委員を免ず

遞信局事務官通信課長 矢野義二郎
遞信局管理課長を命ず
總督府海員審判所理事官を命ず
普通文官試驗委員を命ず
朝鮮彙報編纂委員を命ず

遞信局副事務官 大木乙彌
元山郵便局長を命ず

同 若森美樹
遞信局勤務を命ず

以上矢野氏は通信課長として島田氏は監理課長として何れも約十年勤續せし由にて二十七日交互事務の引繼ぎを終り二十八日より各所管事務を執りつゝあり

東拓社員昇格

東洋拓殖株式會社にては去る二十二日を以て職員の昇格昇給を行ひたるが其の內京城支店所屬の分にして重なる昇格者左の如し

書記野崎滋次郎▲同巽家六藏▲同本倉文雄▲同加藤俊平▲同山崎貞根長▲同佐方文次郎▲同矢野康吉▲同山元利雄▲同井村實
參事を命す
技手楠田謙三▲同高橋貫一▲同
技師を命す
技師吉植庄三▲同堀內順一
參事を命す

學校組合會議

京城學校組合にては二十九日午後三時組合會議を開き左の諸案を附議すべしと

一、組合給與規定中改正の件
一、授業料及び保育料徵收規定中改正の件
一、教育基本財產蓄積停止の件
一、京城女子技藝學校へ補助の件
一、戶別割等級改正の件
一、一時借金の件
一、金庫と契約締結の件
一、大正七年度歲入出豫算
一、大正七年度戶別割賦課額決定の件

米品種價格調査

京畿道管內水原、平澤、烏山、仁川の四米穀檢查所に於て三月中旬檢查せる米の品種に關する調査成績左の如し

品種	籾百斤價格	玄米一石價格	籾摺步合	籾一石斤數
早神力	圓 六、二九	三三、三三	割 五、九九	斤 一八〇
石白	六、三五	三三、三七	五、九九	一八五
穀良都	六、四四	三三、五五	六、三三	一七七
多摩錦	六、九九	三三、三三	五、四四	一七三
日の出	六、二九	三三、二九	五、六六	一七三
多々租	六、〇〇	三三、三五	五、二一	一六九
平均	六、三〇	三三、二六	五、七七	一八二
改良種平均	六、一四	三三、三五	五、八	一六三
在來種平均	六、〇〇	三三、二五	五、一	一五九

公立學校設置認可

今般公立學校の設置を其筋より認可せられたるもの左の如し

▲學校名 甕津公立普通學校▲位置 黃海道甕津郡馬山面温泉里▲學校名 海雲臺公立尋常小學校▲位置 慶尙南道東萊郡南面佑里

農林學校卒業式

水原農林學校にては二十八日午前十時より卒業式を擧行せり釜屋武官、弓削學務課長臨席釜屋武官は總督の告辭を代讀せり

鴨江橋開閉

結氷のため閉鎖中なりし鴨綠江鐵橋は解氷せしにより廿六日よりその開閉を開始したり

湯化龍氏入京

前支那內務總長湯化龍氏は內地へ旅行の途次二十八日朝入京朝鮮ホテルに入り同日午前十一時陳副領事の案內にて總督府に長谷川總督を訪問し敬意を表せり因に氏は三十日出發東上の由

林長民氏著期

別項湯化龍氏と同伴して渡日の筈なる前司法總長林長民氏は二十九日夜入京の豫定なるが一泊の上三十日湯氏と共に出發東上すべしと

千輪副官視察

軍司令部副官千輪大尉は步兵第七十八聯隊實地戰術視察の爲二十七日朝龍山發三十日歸任の豫定を以て開城に向へり

山田德廣氏歸東

元臨時土地調査局監査官山田德廣氏は三十一日京城を引揚げ歸東の途に就く由

雇員口述試驗

二十六日午前九時より永樂町研究會に於て擧行したる雇員試驗の筆記試驗合格者三十八人に對し口述試驗を行ひたり

支那文藝講演

總督府囑託今關天彭氏の定例講演會は二十八日午後七時半より京城俱樂部に於て開會支那文學概論に就て講演を爲すべし

淑明女學修學旅行

淑明女學校卒業生及び職員三十名は二十七日午前南大門驛發列車にて平壤方面へ修學旅行を爲せり

群山

▲製產品評會 群山商業會議所にては全北一府七郡製產品々評會を群山に開催すべく豫て計畫中のところ昨日全州に於ける府尹郡守會議の席上天野府尹より右に關する提議あり結局道廳及び平野部各郡の贊同する處となり近く群山に於て道當局及び府尹關係各郡守の會合協議を遂げ協贊會を設立する豫定なるが計畫の概要を聞くに開期は明年十月中旬にて期間一週間經費は道廳と群山府にて負擔し外補助を仰ぎ協贊會費は約五千三百圓を要する見込なるが之が分擔は二千六百圓を群山府內會員にて引受け殘額を七郡協贊會員にて分擔することとし開期中は二十餘種の餘興を催し來觀者の歡興を添ふる計畫なりと▲運賃の低落 群山より大阪行商船尼崎汽船米穀運賃の昨年一月以降本年一月中旬に至る高低表を見るに米穀百石に付昨年一月より六月まで九十七圓七月より九月まで百十二圓十月より十二月九日まで二百十二圓十二月十日より本年一月十七日まで百六十圓なるが七月よりの運賃は時局の影響に依り船腹益々缺乏の爲め漸次昂騰し十二月十日より稍々其低落を見たるが右は海運業者備船回漕に對する對抗上斯くは低落せるものなりと

大邱

▲府協議會 大邱府協議會は大正七年度豫算案の編成を了へたるを以て二十七日午後一時より府廳樓上に於て府協議會を開催す▲慶北徵兵檢查 來る四月四五兩日午前八時より大邱府德山町大邱寺に於て慶尙北道內居住壯丁百三十二名の徵兵檢查を施行すべく檢查施行官は齋藤步兵第八十聯隊長なり▲農學校卒業式 大邱公立農業學校にては二十六日午前十時より同校に於て修業式並に卒業式を擧行せり本科卒業生三十六名別科卒業生二十三名にして內品行方正九名學力優等九名實習優等九名在學期間皆勤十三名本學年間皆勤四十二名ありたり

北行車中口占　在哈爾賓　田原禎次郎

邊山殘雪白模糊。春淺寒漲擁草枯。孤劍遠征天北路。筆鋒直擬掃匈奴。

次韻　東城　持地六三郎

文壇論策迹模糊。許國精神覺欲枯。吾愛天南多熱血。長驅健筆壓匈奴。

鎭南浦

形勝雄然浿水濱。埠頭面目與年新。波濤縹緲山東客。便是西歸第一津。

人事消息

▲松村良太郎氏(新義州木材株式會社支配人)二十八日夜入京南尾旅館へ
▲小西春雄氏(鮮銀奉天支店長)二十八日朝入京不知火へ
▲山脇東暉氏(專賣局事務官)二十八日朝元山へ
▲管田勇氏(陸軍糧秣本廠出張所長技師)二十八日朝入京南尾へ
▲宋秉畯子 二十八日朝水原へ
▲釜屋總督附武官 同上
▲藤沼武男氏(警視)二十八日嚴父急病の爲め內地へ
▲宮館貞一氏(遞信局會計課長)二十八日內地より歸任
▲兒月少佐(第三十七聯隊附)廿八日元山へ
▲吉村慶北第一部長 二十八日入京南尾へ
▲梁永鎬氏(丁子屋支配人)學事視察の爲め二十八日水原に出張

九州要地歷訪(十)
◇若松の新事業
別府生

▲其の規模の大小に就ては姑らく論外に置くも、北九州の要地中歐洲戰亂の影響を受け、新事業の最も多く崛起せるは若松市ならんと存じ候

▲事實戰爭前に於る若松の事業界は九營局の工場、並に瓦斯電氣等有り觸れたるものゝ二三に過ぎざりしが、大正四年頃より五年に亙り著しく新企業の勃興を見たり、乃ち石川島造船所の如き、問題の東海鋼業會社の如き、沼田及び江口鐵工造船所の如き、帝國鑄物會社の如きは其の主なるもの也、而して外に三重沃度製造所、日本油脂工業會社等も新事業中に數へざる可からず、若松の事業界が俄然活況を呈したるは當然の事と存じ候

▲勃興せし新事業の內容を檢するに多く鐵に關係ある各事業並に化學工業也、鐵關係事業の多數若松に起りたるは、八幡製鐵所に近きため、其拂下に係る鐵の企業をなすに便宜多きためなるべし、唯最近法律の著しく製鐵所關係事業に動く傾きあるより若松の鐵關係新事業は若干不安の念に襲はれ居れるに似たり、コハ不正檢擧と別關係なれど件の東海鋼業會社は果して製鐵所拂下銑類の削減を來す事あらんか其の前途にとり問題ならん、又各鐵工造船所並に鑄物會社の如き、今回の檢擧に起因し其の製鐵所關係は從來より不利となるを免れ難からんとの推測より種々の說も出で居る如く候

▲然れども鐵工と云ひ、造船と云ひ、製鋼鑄物各事業の經營の如きは相當の根據により居り、前途悲觀を要すべきに非ず、假りに世說の如く對八幡製鐵所關係が若干從來より不利となるにせよ、目下洞海灣を回り計畫され實行されつゝある東鐵三菱安川日本各製鐵業の開始するあらんか、材料の供給は何等患ふるを要せざるべく、各種の關係より一時的の不況時代は戰時若くば戰後に來るとするも大勢は樂觀して可なりと存じ候

▲兎に角從來の若松港は洞海灣沿岸の盟主を以て任じたるも、其の自港の運命は單に一石炭の集散地設備にて足れりとせし觀ありしも、然も上述の如き諸事業の興起は、市をして遂に一步を進めしめ雜貨集散地として海陸連絡設備の目的を完成せんとするの計畫の樹立を見、約四十萬圓を投じ適當の施設を加ふる事に決定目下工事中なり、然もコハ若松沿岸の一小部分に留まり居れる如き觀はあり、然れどもその壯大なる設備を一市の力に求むるは求むるものゝ無理なるべく焦眉の急として先づ此の施設に滿足の外なかるべきか

▲若松が石炭集散市場として日本第一なる事は周知の事實たり、其石炭積込のため入港せし帆船の夥しき數を見るものは如何に盛況を呈しつゝあるやを知るに苦しまざるか、既に自港の諸工業、呼べば應へん對岸戶畑の繁榮、並に洞海灣沿岸を回り八幡製鐵所を初め諸事業の群進せんとしつゝある現狀は現に洞海灣港問題の具體化を促しつゝあり、之等四周の狀況は自然的にも若松の市勢を膨脹せしむべしと信じ候

時間表
[illegible]
十一月一日現行

◇浦鹽の朝鮮少女

●市況不振の浦鹽に 鮮人は七千

‖景氣の回復を待つ邦人‖

浦團枕に著換の二三枚 白衣姿が續々浦鹽上陸

‖朝鮮よりの毎渡航者二百を下らず‖

烏港にて　西村特派員

浦鹽在留の邦人は總領事館、銀行、會社員、商人を除けるとあとは大工、左官、時計直し、洗濯屋と云つたやうな職人が大部分を占めて居る、困つて居るのは單に商人許りではない

▽市況の不振 と共にコレ等の職人も同樣に困つて居るが殊に大工や左官などは近來思はしい工事がバッタリとなくなつたので一層の打撃を感じて居る、ソレで中には此浦鹽に見切をつけて歸國した者も多少あるとの事、浦鹽の形勢が逼迫した爲め多數の邦人が引き揚げたなぞと傳へられたのは恐らく此邊から生れて來たのではあるまいか、尤も

◎歸國した者は コレ等の職人の外にも あるが之さへ決して危險を感じたからではない、多くは浦鹽不安の聲に驚かされた親兄弟が心配の餘り歸國を促して來たためだと云ふ事である、ソレは兎も角現在の在留邦人が困つて居るのは事實だが官吏や商人は無論職人でも流石に今迄踏み止つて居らうと云ふ意氣込みだもの、儲け口がなくなつたからと云つて慌て丶歸國せねばならぬ程

割之は感じて居らない

◎コンな連中は 一千乃至大抵四五百留から多い ところで二三千留位の貯金を持て居るが今は何しろ換算率が賤い昨今の相場では假に千留持つて居るとしても日貨に換算すれば、僅かに四百圓内外にしかならぬ、コレでは折角海外に乘り出して血の汗流して粒々辛苦した甲斐がないと云ふ考へで居るらしく、從て其中には景氣も直らう仕事も出來やうと前途に

▽一縷の光明を 認め先づソレ迄は石に嚙り付いても動くまいと云ふ覺悟で居るらしい、誠に韌强しい話である、在留の鮮人は內地人よりズツと多くザツと七千許りも居るが浦鹽市中には勞働者は餘り居ない大抵商人で勞働者は主として奧筋地方の砂金鑛や農園で働いて居る、市中の勞働者が職を失ひ

◎歸れず瘦犬の 飢餓に迫つて、露西亞に やうな姿でゴロ〳〵して居ると云ふ事を聞いたがソンな悲慘な氣配は些しもない、成程一時にくらべると儲け口が尠くなつたのでコレ亦弱つて居るには居るけれど空腹を抱へねばならぬ程困つては居らぬ、發程歸國の御用船ヤカウト號で四百人、我平安丸で二百人許り歸國したがコレ等は大部分奧地に居たもので何れも

◎物騷な噂に吃 多少の蓄財を持て居た 驚して奧筋から逃げ出して來たので今更引き返へす氣にもなれず仕樣事なしに歸國したと云ふ連中が多いとやら、一方にコンな譯で歸國する者が居るかと思ふと又一方には朝鮮から出懸けて來る者も多い、一航海少くも二百名を下らず、中には毛襟の外套に山高帽と云ふ紳士氣取りのハイカラも居るが大抵は例の白衣姿、女子供も無論尠くない

▽浦團枕に著 換への二三枚外に何はなくとも戀しい懷かしい朝鮮趣味に親しまうとてか明太の子の二壺や三壺は舵度持つて居る、コレ等が稅關檢査の濟むのを待ち兼ねてゾロ〳〵と上陸する處は誠に盛んなもの、恰も其の一足〳〵に『朝鮮』と云ふものが居いて來るかに思はれて却々愉快である

●滿鐵線路 軌道繼目の 螺旋頭を外す

▼時節柄重大視さる

最近滿鐵開原以北公主嶺附近に於ては鐵道線路の軌道繼目に附しある螺旋頭を外し巧に是れを持去るもの多く鐵道守備隊にては周到の用意を以つて計畫し居れり猶其手段を觀るに相當精巧なる機械を用ひ居るもの丶如く從來單に金物盜みの爲せるものとは大いに趣きを異にし居れば或は彼等の背後に相當の使嗾者ある可く時節柄頗る注意されつゝあり（奉天特電）

●毒瓦斯を取る藥草

‖獨逸は南洋で栽培してゐる

小兒の弄んでゐた草の實が毒瓦斯の草 足元に生えてゐる草にも研究の眼を！

一大溫室を

◇醫科理科大學が◇協同で建設する◇

白鐵研究で有名な河村理學博士は我國の藥草研究について曰る

これも歐洲戰亂から來た一つの影響であらうが、我國の藥草研究がやうやく世間の注意を引いて來たこの研究の大きな歩みとして、東大の醫科大學と、理科大學とが協同して、藥草の栽培研究の爲めの一大溫室を作ると云ふ案が成つてよほど進行してゐると云ふ、從來

◆へ藥草研究 は妙なことに理科大學も醫科大學もあまり乘氣でなかつたのをとんで兩大學の怯醒によつて、大溫室が出來ることになつたのだ、いつたい藥草研究は我國の古い醫學の權威で『本草圖譜』『草木圖繪』などは、その研究間の双璧と云はれ長い間閑却されてゐたのを最近になつて大いにその價値が認められたのであるその當時の學者の藥草研究はすさまじいものでかの名山伊吹山の全山を

◆◆藥草園と する意氣込でやつてゐたものだそれほどの熱心なのがすつかり中斷されて仕舞つて一頃は藥草なぞは全く顧みられず根こそぎにした藥草をそのま丶、何千貫と外國へ輸出して今日に及んでゐる仕末なのであるところが外國の藥草研究は中々盛んなもので獨逸が例の毒瓦斯を藥草から取つて來たことは有名な話だがそれについて面白い話しがある、横濱へ南洋からやつて來る船が時々

◆◆南洋の草 の種を持つて來るので横濱邊では南洋の珍草としてそれらを澤山に栽培してゐる人がある藥草獎勵會の日下氏がある時さうした人の家で小供が南洋の草の種を玩弄んでゐるのを見て、その種を貰つて來て栽培して見るとどうやら獨逸が南洋で栽培して本國で盛んにそれから

◆◆毒瓦斯を 取つてゐる藥草に似てゐるので、理科大學で研究して貰ふと正しくその藥草に異ひないと分つたとの事である、こんな譯で實際足元に生えてゐる草に、顯微鏡と化學藥品を持つて研究の目を向けると、どんな結果が出て來ないとも限らない、醫科と理科との共同の一大溫室が出來上つたら、かうした多望な藥草研究の上に新しい大きな設計が始められる事であらう（東京）

♣修業式の日の遊戲 小さい生徒の歩調はオルガンから流れ出る旋律に縺られて或は活潑に足踏み鳴らし或は靜かに忍ぶが如うに足並に揃つて蝶々の様に蜻蛉の様に跳びつ舞ひつ可愛らしい遊戲をしました（左）證書と御褒美を頂いてニコ〳〵顔の李偶公と尹奥門鑁（李王妃殿下の御妹）

●大阪高商校長 武田氏に決定

大阪高等商業學校長には現神戸高等商業學校長武田千代三郎氏就任の事に內定せり（大阪特電）

●八幡製鐵 又復檢擧か

八幡製鐵所は二十七日午後檢事の搜索を受けたり又復檢擧を見るならんと（八幡電報）

●長崎運漕業者召喚

長崎市築町運漕業馬越種吉は二十七日午後大阪地方裁判所へ召喚さる多分福岡事件に關するならんと（大阪特電）

●濟南地方 鼠疫終熄

濟南及び南京に於けるペストは防疫勵行の結果殆ど終熄せり（北京特電）

●笠戶造船中止 所員に涙金を 別報

山口縣下松の久原の日本汽船株式會社笠戶造船所は造船作業全部中止し同町は火の消えたる如し所員には一年乃至三年分の涙金を贈り（山口電報）

●船夫豹と格鬪 漢江の急流で

高陽郡纛島面松亭里飲食業梁致培方にては二十四日午前四時頃仔豚二頭を豹に拉去されたる旨屆出により纛島憲兵派遣所にては附近の人民を指揮し豹の行衞を搜索中同日午前八時頃同地普通學校東方の畑地にて

▽一頭の大豹 を發見し里民大擧して包圍襲撃したるより逐に逃げ場を失ひて渡船場より漢江に飛び込み二頭共急流を對岸に向け逃走せしより居合せたる船夫李致祚（三）崔駿道（三九）の兩名は小船に打乘りて之れを追跡し內一頭を河中にて見事

▽撲殺せしが 他の一頭は途に對岸に泳ぎ上りて姿を晦ましたり因に撲殺したるは約七歳位の牡豹にして體量八貫五百匁ありしと撲殺者に對して憲兵所よりは賞與金下附方を上司に申請せり

●頻々たる 電車事故

一般に注意を要す

二十六日午後十時四十五分頃京城電氣株式會社の麻浦行八十一號電車が竹添町三丁目を進行中、通行人高陽郡延禧面阿峴北里の韓永雲（二三）が衝突し面部に重傷を負へり▲二十七日午前八時四十分頃東大門行百一號電車が鍾路四丁目を進行中乘客なる給仕七十八番地新莊いそ（三〇）が飛降りをなして打倒れたるも幸に負傷なかりし▲二十七日午前九時四十分頃清涼里より東大門に向け進行中の四十二號電車が昌信洞にて脫線し乘客には異狀なかりしも同線は一時立往生せり

●可愛らしい答辭

○李鍝公が流暢な國語で

‖京城幼稚園修業式‖

京城幼稚園の修業式は二十八日の午前十時から同校で擧げられました『君ケ代』の合唱に式は始まり磯貝女子高等普通學校長は園長に代て證書と李男爵御寄贈の御褒美とを渡され修了生へ

◆◆御親切 なお話があり ました、文李允用男は來賓を代表して祝詞を述べられ史德昌君と李鍝公とは生徒總代として流暢な國語で可愛らしい答辭を述べそれから

◆◆唱歌と 遊戲とがあり まして式を終りました、當日は李允用男、李秉武子、金春熙男白完爀氏其他父兄姉の方が多數お見えになりまして皆んなニコ〳〵して居られました

▲電線火を吐く

二十八日午前十一時頃京城電氣株式會社の我州通り行き電車が鍾路停留場附近を進行中俄然電線切斷し轟然たる音響と共に其の切れ端より火を吐きしが幸に通行人等に異狀なかりしも是れが爲め一時全線に故障を生じたるが工夫驅けつけて應急手當を施し約十分の後開通せしが鍾路停留場附近は一時大混雜をなせり

●強盜死刑

昨年八月二十六日夜慶北聞慶郡山北面千谷里に於て同所鄭鳳基を斧にて殺害し現金六十圓を强奪したる金九權（三三）に對し大邱地方法院に於て死刑の宣告ありたり（大邱）

●疑似猩紅熱

全北錦山郡居住中山久子は病氣加療の爲め入京し古市町三十五番地西村某方より總督府醫院に入院中同伴し來れる一男（五）一女（三）は二十六日疑似猩紅熱に罹れり

●五十名宛入學許可

▼善隣商業入學試驗

龍山善隣商業學校の入學試驗は二十八日迄に豫科及び本科一部を終り二十九日より更に本科二部の志願者に對し施行、四月二日其成績を發表する筈なるが採用人員は豫科並に本科一部二部共各五十名の豫定にて夜學專修科に限り志願者全部（百二十名）の入學を許可し四月六日午後六時三十分より始業式を擧行すと

●受驗者の好指針 朝鮮及び滿洲に於ける官公私立學校の入學に際して受驗する朝鮮語官話受驗者の爲めに最も參考書と云ふ

讀者文藝（一等には五十錢の郵便切手券を呈す）

▲川柳『闇』

▲一尊（なし）

闇の夜があるから月が忘られぬ　鍾原　萬里

▲爪の灯を消して息子は闇に入り　武橋町　武庄

▲日の御旗出るまで闇の國があり　全州　多佳山人

▲伊勢屋では闇夜は早く店をしめ　旭町　鳩子

●岡崎哲夏氏來る 性相學家岡崎哲夏氏は此程入鮮浦旅館に滯在中なるが二十八日より向ふ一週間午前八時より午後十時迄の間に觀相の依賴に應ずる由

●取消 拜啓三月二十八日御發行の貴紙三面『妲妓誘拐者は大變な曲物であつた』と題する記事中大谷政一なるもの當所の勤務員の如く相成り居り候得共同人は當所員にては無之候［以下判読困難］京城日報社御中

讀者文藝課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は氏名の外に住所氏名明記の事▲一等…

商況

東京期米特電 二十六日後場 二十六圓六十六錢

兵庫期米 二十八日前場 二十六圓五十一錢

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

●綿糸布引返す 大阪綿糸布今前場の入電は三品は…先限八十六圓六七圓方跳返し止…小高き移りに綿布は…

●罐詰氣迷ひ

●毛斯益々強硬

●白米小弛む 十錢方小安

●大麥小安し

●支那粟下押す 二十五錢方下押せり

●石油類と人氣 マレン油四十錢方を引上

投物の續出 警戒を嚴にせり

大連市場 大勢に添はず割安

●洋釘伸惱み

●地場正米軟調 二十錢方引返

前高値の上越し

約十錢方下押

意外の氣崩 變質の憂と小思惑米賣出

●錫更に昂騰 上日の裡に二百十五圓に近く騰がる約六十圓

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

仁川期米 ▲二十八日前場（下澁る）

仁川期米 [illegible]

市場雜觀

大阪天候晴天 前日より二錢安の入電跡安移りに依然保合の裡に下澁る

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

志 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川取引所 二十八日の五月限

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人

仲買店 仁川米豆取引所仲買人

大五仲買店 仁川米豆取引所 店主 豬飼政太郎

仲買店 北濱たより

白米標準値 二十六圓八十錢 小賣白米 二十七錢五厘 二十七錢

…四二千俵先九十七錢より六錢と俵…本日付の盛散會せり各地寄及び跡…後場寄に來らず
後場寄前三節二十二圓二十錢四節

仁川米豆取引所
二十八日の五月限
前場 一節 … 二十一圓九十六 …

七年振りに 洋裝を解て

◆膝頭を撫し◆
●露都より歸れる日本婦人●
●小野ます子さんは語りて曰く●

『知つて居る事でしたら何んでもお答へ致します』と前提して其質問の矢を多く放たなくとも自から容易に語り得る婦人は活潑な習慣は西洋でないと到底出來難い事である『彼方の婦人はそれはなか／＼見識を持つて居ります胸を張り腰を反らして歩るくなどは日本婦人でしたら妙に格構が惡いのですが彼方の婦人に若し前屈みな歩き方でもしようものなら其こそ

◆**滑稽** で見られた者ぢやありません單に其の容姿許りでなく自尊心の強い事と來たらとても日本婦人に接しられた方の想像の出來る處ではないのです若し婦人の後ろから言葉をかくる樣な無作法な男子でもありますと彼方の婦人は見向きもしませんそれを非常な

◆**侮辱** を蒙つた者とするのです私達も多少其の氣分で發は亂ち居る者ですから人樣に對しては チョイ／＼御無禮する事もあるのです露都から歸りますに就ても隨く内密に來る積りでしたけれど長春で貴方の新聞社の方に見つかりましてそれは！隨分お人が惡いそしてなか／＼お上手でゐらつしやるもんですから遊び過ぎてしまつたりです

◆**汽車** の中では洋裝で到頭途中で着替へる暇か無かつたものですから仁川迄も其まゝで參りました蹈つて一時間ばらされますのは食物よりも先づ室内の習慣ですがもう十年近くも斯うして坐つた事が無いのですから膝が痛くて實に困ります大抵永らく彼方に出ての暇方でしたら多く左樣に仰るので御座いますよ壁に凭らされて足が痛くて困つたから床の間に

◆**腰掛** けたなんて必ずある事でせうがマサカ女が床の間に腰をかける譯にも參りませんので』無造作に敷き込んだ座布團の上に斜に膝を折つて窮屈さうに其の膝頭を撫で乍ら愛嬌の好い物語りを續くる『露都に居る日本婦人と申しますと、それは僅かなもので矢張り大使館にでもお務めなさる方の奥さんや女中達の外は餘り見受けません

◆**醜業** 婦なんて居りはしません西伯利亞に參りますと多少あるでせうが露都には居りません居つても見れなくて仕合せです私共は日本婦胞の權威を保つ上に於て勞働者とかそんな種類の女なんか一人も居ない事を希望します東洋の下級勞働者としては支那人の苦力が居りますがそれは可愛相なもので露西亞人に輕蔑さるゝ事は實際お話になりません、其の支那人と私共は

◆**本國** を同じうしてゐるかの際に日本人を見て彼方の者は支那人と云ふのですから嫌で／＼堪りません革命の殘虐それは滅多に外出せぬ私共も時々街上で見せられた事があります大砲や機關銃の音など市中に聞ゆますが廣い街路の或る一部分の出來事ですから家の中に居りましたら分らぬ位ゐです馴れたら平氣なもので

◆**獨逸** の飛行機が飛むで來る戰線近くの處では最初こそ獨機が來たら皆地下室へ逃げ込んだものださうですが近頃では飛行機が來たと云ふと却てバルコニー等へ出て飛行機を眺めるさうです其位ゐ皆が戰爭には馴れて來て居ります革命の齎らす結果は勞働者が威張るだけで休養を與へよと云ふ叫びを實行するのですから掃除夫が働らかなくなつて街が

◆**汚な** くなり使ひが用を便さぬ儘になつて餘程甘く使はねと難澁するのです一番奇異に見ゆるのは婦人の革命運動でせう勞働者の妻や小供等が幾萬となく列を組むで革命の歌を唱つて示威運動をする處なんか日本ではトテも見られぬ稀景ですよ』

◉通過外人取締

◇帝國領事の承認旅券
無き者は直ちに下車せしむ

焦眉の急なる如く傳へられし東露問題も内田大使の歸朝により其の熱度冷却せるやの感ありしが先づ怪しき外人の徘徊を防止する手段として今回東支鐵道によりて南下する外國人にして在長春帝國領事の旅券認承なき者は一切旅行せしめざる事になり右は二十四日夜行の旅客より實施せるが規則發布匆々とて未だ其の事を知らざる多數の外人は列車中に在りしが其の手續なし居らずとて發車間際何れも下車せしめられたり（長春）

◉哈市電業統一

今春來より日滿商會、東亞貿易公司其の他二三の邦人によりて奔走中なりし哈爾賓に於ける露人經營の電氣會社二箇所を買收し新たに日露合辦により資本金百二十五萬圓の北滿電氣會社を起し哈爾賓の電氣事業を統一する事となり總ての交渉問題は圓滿に解決を告げ來月中に會社を創立する事となり株式應募者も略決定せる模樣にて該事業には東拓會社も多大の援助を與ふべしと（長春）

◉露貨の逆輸入

露貨の相場持直したる爲め安き時に買入れたる内地の人々は昨今露貨を滿洲に續々送り來りて長春其他の市場にて賣放ち居れり（長春）

◉平壤在庫貨物

◆個人倉庫は銀行の二倍◆

平壤に於ける朝銀、農銀、百三十、漢城の四銀行に於て客月末調査重要物産在庫品中主なるものを擧ぐれば精白三千七百九十五叺、中白四百叺、粳二千九百六十一叺、大豆千八百六十叺、小豆三千六百七十一叺、綠豆七百七叺、絹織物千九百八十三疋、綿物四千二百六十三疋、麻布一萬七千三百六疋、粟九百三十三叺、小麥一萬九千八十七叺、牛皮四萬二千六百七斤、大麥千七十五叺、粗布其他金巾類二…なすと云ふ

◉露都引揚げ 間際の光景

◆金髮婦人を新嫁として
◇露都ずし小野商館支店…

私共の列車がペルメ市に著いた時に我が露都引揚げの先發團たる柳少將一行私共よりも三日も前に特別仕立の列車で發した此の一團が私共の乘つてゐる列車に遊入つて來た私は此の一行が何うして斯んな處に彷徨つて居るかを不思議に思ひながら尋ねて見ると引揚先發隊一行の乘つた特別仕立の列車は實は主として米國人の引揚團の斡旋の下に露都を發したものであるが米國人等は獨逸軍の爲めに捕虜と成る事を甚だ恐れてはゐるが狀況の切迫せざる限り成るべく露都に踏止まり度い希望を持つて列車を各地に停め電報を以て米國大使館に狀況の問合を爲て居た此の特別列車を仕立てた米國人は露都に於ける主なる米國商人であつて彼等が西伯利亞の事情に精通せる事は驚くの外はなく

何處に獨墺の俘虜が

何の位ゐで又其行動は何うだといふ事を頗る詳細に精通してゐる故多數の捕虜のゐる驛を通過する場合には其の襲撃を怖れ戰々兢々車窓から顏も出さず愴惶として通過するが捕虜の少數な驛に著くと下りて食料も取らず…彼等は如何にも安心したと云ふ風に悠々と列車を止め電報にて在ペトログラードの米大使館に打電して露都の狀況を聽取り場合に依つては途中から引返へす位の考へで居る樣であつたが遂々柳少將一行は三四十時間も同じ驛に停車してゐると云ふ有樣であつたから我が先發引揚團の柳少將一行は頗る迷惑を感じて居つたが癇癪玉を破裂させて米國人の引揚團と別れてペルミから私共の乘つて來た普通急行列車に乘り換へる事となつたと申しました、露都の狀況は引揚當時に於て事情の切迫したるものなりしが如くなれど冷靜に觀察すれば危險の假に迫まりたりと云ふ程にはなかつたと思はれる兎に角獨逸の勢力が近來俄かに露國に張溢した樣に傳へらるゝのは

極て皮相な觀察

◆で獨逸の勢力は…

以後常に露國を支配して居つた或る方面から觀察すれば今回の開戰の如きも亦獨逸が露西亞を誘うて大亂の導火線としたもので獨逸の計畫は日に月に其の豫期した處に向つて進んで居ると見るべきである昨年三月の革命は一時露西亞から上流の獨逸勢力を驅逐したかの觀が有つたが露國に於ける獨逸の勢力は恰も人體に於ける黴毒の如く其の現れたる部分を隨つて切り捨てゝも人體の存する處に黴毒の存する如く露國の國體を如何に改革し改造しても露國民族の存在する處に獨逸の勢力の存在する事を否む事は不可能である獨逸は多年隱忍的に扶植したる露國内に於ける自國の勢力を此の機會を以つて充分に發揮せしめるであらう

◉群山の火災

二十六日午後十時五十分群山金州通群山組所の下に群山消防組の機敏なる活動…過署長今永警部以下署員出動指揮…消火に努めたる爲め僅かに火元納…調中なり（群山）

◉滯貨漸次減少

百二十八梱等にして其他各種共…干宛の在庫を有し尚ほ個人倉庫として約此二倍の在庫品あるべしと

一時貨車拂底の結果鐵道沿線各驛に於ける滯貨著しく增加し平壤驛の如き一千數百噸の多きに達し輸送上多大の支障と共に取引商人の被る損害尠なからざりしも現時に於ては貨車の繰合せ漸く滯貨も漸減の傾向を示し來れり然れども尚ほ京城以南に於ては滯貨多く又一面貨車も充分とは行かざるを以て向後多少の滯貨は免れざるべしと

◉四平街銀行

株式會社四平街銀行は營業認可ありしを以て二十四日午後六時より宮城ホテルに披露宴を張りたり主客六十名席上社長泉水幸太郎氏の挨拶來賓總代伊藤鮮銀出張所長の祝辭ありて盛會なりし而して同行は商業貯金會社と密接なる關係あるを以て營業開始と共に貯金會社を併合する計畫なりしも規定上差支ふる處ある爲め貯金會社の業務が盡くる時に於て第二回拂込金をなすと云ふ

◉海岸地方は 燃料に困つて居る

極力植樹の奬勵

平南海岸地方に於ける山野は荒廢の極に達し嚴寒と雖も一把の薪を得るに道なく一般住民は枯草の類を以て此れに充てゐたるが春暖に際して枯草すら缺乏し是等悲慘なる住民の生活は眼もあてられず現に住にては生活難を口にして黄海道方面に轉住するもの頻々たるの狀態なれば平南道廳に於ては目下同地方に大々的の林野整理に著手中に付き終了次第住民を督して堤防河原、宅地等總ての空地へポプラアカシヤ、榛の木の如き速成樹を植栽せしめ一般の窮乏を緩和すべき計畫を樹てたるが往民は植林の意義を知悉せるも遂き年月後の收穫を思ひて容易に行せずと

◉一萬圓の詐欺漢

…刑の執行を猶豫し他の三名は何れも懲役三年に處する旨宣告あり（大邱）

◉果して殺人強盜

既報去る十四日龍岡郡吾新面松城里の林氏方へ覆面にて押入り主人の林永京及び妻女に斬り附け林永京を死に致したる事件の嫌疑者として引致され南部署李警部の手にて取調べ中なりし同里五二二戶金鳳英（二七）は遂に包み切れずして該犯人なる事を自白したれば強盜殺人犯として平壤地方法院檢事局に送らるべし

◉十二力丸沈沒

仁川港内に於て

三月廿四日午後一時仁川港内小月尾島燈臺北側に於て帆船第十二力丸は汽船第二十一共同丸より石炭を積載し内港に向け航行中折柄東南の風強く波浪高く爲めに海水船内に侵入沈沒せり船體には破損の箇所なきも積載貨物多少流失を免がれず船體約五十圓の損害に過ぎざるも石炭四十五噸を流失せりと又第八共同丸は汽船神代丸より石油四百二十箱を積載港内稅關棧橋東側に繋留中午前十一時頃より東南風の強風に飜弄せられ棧橋に打付けられて後部船底を破損し海水侵入して沈沒船體約九十圓の損害にして積載貨物石油四百二十箱全部濡損せり

◉粗忽の行商人

正直なチゲクン

平壤壽町小間物行商人平野金次郎といふ男は去る二十三日午前九時頃擔軍に小間物貨金屬類約三百圓餘を擔がせ市中行商中惡兵隊附近に於いて該人夫を見失ひたるより大騷ぎとなり所々を探し歩きしも一向見當らず泣く／＼平壤署へ出訴へ出でたれば同署に於ても捨置き難しと早速刑事を四方に派し右人夫の所在を捜査せし處午後五時頃惡兵隊附近を徘徊せる擔軍あるより取調たる處此鮮人は雇主なる平野が勝手に歩いて行きし爲め遂に姿を見失ひたるが平野らしき風體の男が慈惠醫院に入りしより同醫院に到りソコが鮮人丈けに約六時間も待つて飯も食はずに待ち倦みたるが一向雇主の姿見えざるより五時頃のこと／＼同院を出で雇主を探すべく市中を徘徊中此始末に及べりと正直に申立てたれば同署に於ても初めて金次郎の粗忽より出でたるものと察し大目玉を頂戴して悄々引下りたりと

◉鮮童連の豪遊

平壤府新倉里朴享冠（一七）同冥香里李德贇（一八）里門里金永棋（一七）と孝建（一七）鍾齊里朴允範（二〇）冥香里…云ふ五名の鮮童は去る十五日午後九時頃里門里内地人料理店西洋軒に登樓し妓生三名を揚げ翌日午前四時頃まで豪遊を極込み居りしを巡回中の平壤署員に認められ支拂金を要求を爲さしめたるに何れも懷中無一文と云ふことが判明せしより一同を引致し取調べの末其々親を召喚し遊興費辨濟の上一同父兄に引渡したりと

◉滿洲各地の嵐

被害多少あり

◆四平街 二十三日朝來曇天にて後ち微雨あり夜に入りて西北風烈しく雪となり寒氣頗る高せるが爲に特産物大豆其他の野積を濡らすことを豫防する爲めアンペラを以て覆をなす等混雜を極めたり（二十四日四平街）

◆大連 廿四日より廿五日に亙り大連地方に暴風あり風速十八米突に及び市街及び漁船等に多少の被害ありたり（二十五日大連）

◉中風患者燒死

忠南牙山郡溫陽西面山里韓星辰（四八）方より二十一日午後八時半頃出火同家一棟を全燒して同九時十分頃鎭火せり星辰は數年前より中風症に罹りゐる爲め遂に燒死するに至れり原因は同人長男乙男が（二〇）焚火したる儘にて隣家に行きたる間に失火したるものなりと

見習文選工募集

年齡十四歲以上十六歲迄の内地人男子にして尋常小學校卒業程度のもの五名見習文選工として採用す希望者は自筆履歷書を携帯本社理部へ申込まれたし

京城日報社

寫眞

寫眞銅版、亞鉛版、撮影

京城日報社 寫眞製版部

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

▲當る二十九日より大奮發提供 ▲山本嘉一派新派悲劇 …新派家庭悲劇姫百合 全三卷 …

○大活劇快漢ロバート 全五卷 …

○新派悲劇重ねざくら 全三卷 …

○泰西活劇黒き邪人 全五卷 …

黃金館 電話二六三七・二六六 …全四卷 …

有樂館 平川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（階上）三〇五番（階下）二九七番

▲三月二十七日より公開 ▲實寫ユーマンがり ▲舊劇義士外傳高田の馬場 全二卷 ▲戰爭悲話軍の前天才小國民 全五卷 …

▲新派悲劇 …

▲喜劇 …

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇 …

壽館 京城本町 電話一〇五〇

…

商業登記公告

京城地方法院

商業登記

春川支廳

公告

京城府

沙里院出張所

電話變更

弊店從來使用の電話を今後
「二〇四七」番に變更
致候間此段廣告候也
京城本町一丁目（三越前）
和洋菓子
バン製造
朝鮮風俗センベイ
岩宮朝日堂

在庫品賣却廣告

蒸氣汽罐…
高壓汽機械…
コンバン、コンデンシック…
山中商店

★
資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

内科 小兒科
京城府明治町二丁目（本町江戸川橫より入る）電話三七八番
入院隨意
中島醫院
院主 中島貞信

謹啓春暖之候各位倍御隆昌慶賀此事奉存候就ては今般其筋の認可を得て來る三月廿二日より仁川米豆取引所仲買店を開業仕り顧客本位を以て最も確實に御用命相受可申候間倍舊御引立の程偏に奉願上候
大正七年三月廿日
◎開業廣告◎
仁川本町三丁目
ウ 内海仲買店
店主 内海淑郎
電話 長六一五番 六三二番
電略 ウ又ハウ

資本金拾萬圓
金銀交換外國貨幣先物取引及有價證券賣買並に其仲立業
右不拘多少御用命願上候
長春錢鈔株式會社
電話 二七六一 四二〇九番

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生
普成商業學校講師
西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース簡美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購せられよ
一、「殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の内容は貧弱ならず「試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを希ふ
發行所 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 京城太平通一丁目
取次所 大阪屋號 巖松堂

電話二二七七番 京城（寄座町）
山田耳鼻咽喉科
福田齒科
醫院

塚原卜傳

第二十九席

悟道軒圓玉口演

塚原小太郎三條大橋山城屋儀右衛門方を立出でゝ木屋町通り若狹屋四郎兵衛といふ遊女屋へ訪ねて參りました、紺の暈しの暖簾に山形に一輪櫻を染拔いて、側に若狹屋としてあるスグに知れたから入口に立つて 小『許せ』と聲を懸ける ○『お出やす』と出て來たのは仲居と見えて四十五六になる女、皺の見えないやうにコテ塗りに白粉を塗つて居る色氣たつぷりな大年増 小『拙者は少々主人四郎兵衛殿にお目に懸つてお話いたす事があつて參つたが取次いで貰ひたい』 女『ア、左樣だつか、まア此方へお上りなはれて少時お待ち……アノ旦那はんへ、今な若いお武家はんがお見えで旦那はんにお話があるこないにいうてにお待ちだすがな何ないにしまほ 四『左樣か座敷へお通し申して呉れ、只今お目に懸るから』と仲居に言付けて小太郎を座敷へ通す、小太郎座敷に通つて待つて居ると軈て立出ました主人の四郎兵衛年頃四十五六、赭顔のデップリした男で 四『コレは入つしやいまし、手前が若狹屋四郎兵衛でございます、エ、何ういふ御用向でお出下さいましたか……コレお茶を早く持つて來い、お菓子は何うしたエヘヽヽヽ何うも氣の利かない奴ばかりで困ります 小『イヤ決してお構ひ下さらんやう實は御主人御當家の抱へで照代と申す婦人がござるさうで、其婦人の事で少々御相談があつて伺ひましてござる 四『照代……ア、左樣でございますか、イヤ實は照代でいふ女が昨晩姿を隱して了ひまして何うも大騷をいたして居ります手前共でも大切の抱女でございますから手分をして探して居りますが一向分りません確か實父が鞍馬口の方とかに居るといふ事を聞きましたから實は只今其方へ人を出しました處で…… 小『イヤ其れは〳〵其照代ならば御心配に及ばん拙者が存じて居ります 四『アノ貴方樣が左樣でございますか大きに有難う存じます、それで漸々安心いたしました 小『其照代の事に就いて今日御相談に上つたのであるが、斯ういふ事は露骨の方が宜しいから包まずお話いたす、實は昨夜拙者が一條堀川の戻橋で身を投げやうとした女を助け、仔細を聞けば此家の抱へ照代と申す者死なねばならぬ仔細は斯々と一伍一什の物語り、聞いて見れば誠に不憫實家へ送り届けて置いて昨夜は深更に及んだに依つて今朝お訪ね申した次第であるが、何と御主人本人は岩成殿方へ參るは死ぬほど辛いと申す當人が厭と申すを強てとは申せぬもの貴殿もまた其の岩成殿と何ういふお約束をなさつたかは知らんが定めし分らん事は仰しやるまい拙者も當人を助けた縁もあり實父は御承知の通りの貧窮到底本人の身代金を返濟する譯には往かん實父に代つて拙者が其照代の身代金及び借財等を御返却いたし萬事奇麗にお話をつけたいと存じてお伺ひ申したわけ御承諾下さればれ拙者も大慶でござる』と小太郎表面は慇懃に言葉を叮嚀にして申述べた承はつて四郎兵衛 四『其れは何うも御親切樣によくお出下さいました、エ、其れはもう身代金さへお戻し下されば誰方にお渡し申すも同じ事でございますから、宜しいわけでございますが、何しろ彼女は岩成樣の強ていふ御執心で本人の厭がつて居りますのは分つて居るやうなものの當時日の出の岩成樣の仰せ、其れを背いては當人は固より當初め木屋町の同業一統の災難ともなる大事の場合でございますから據なくお受を致しまして身請の金を受取つて了ひました、今更外に身請の者があると申して變更には相成りませんから折角でございますがお斷り申上度うございます 小『然らば何うあつても、承諾はならぬか』 四『據所ございません』

入院隨意　京城明治町一丁目　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

曆

三月三十日九星　舊二月十八日丙子　本命七赤　西納　先勝

●七赤● ない紬論の事有日新事見合南方は吉晴天西▲八白● 〆括よき日轉居入學求職名弘出 漁撈築造證券融藥等萬吉▲九紫● 不得策の事有日新事手控補事は吉交際に注意せらるべし▲一白● 盛大の日轉居開業入門名弘求職株上金件造船婚禮取等皆吉▲二黒● 離愼の日轉居旅行入 盜名 弘探 鑛求 職金談縁組等萬吉▲三碧● 狂しき事有日新事手控補事は吉買物に用心せらるべし▲四緑● 平運の日なれども新事轉日の方吉舊事處置は妨なし▲五黄● 上運利速の日轉居行 商業皆吉女子の獨立業た計るに妙▲六白● 尻拂を得る日轉居旅業旅行名弘出 船求 職金談婚禮特許出願等萬吉

ルーデサック　男用一打 四拾錢特製六拾錢　女用一個七十五錢。特形各一個廿五錢。月經帶一個八十錢、一圓各種（送料要）

有効保證 麻病梅毒專門藥　麻病梅毒自宅療法申込次第進呈　京城永樂町二丁目交番北　東京 トラッグ商會 滿鮮本部

花柳病專門 外科　梅毒●淋病●泌尿生殖器病　翠丸病●痳病●皮膚病●病　婦人病●神經衰弱ヒステリー　京城南大門通農工銀行裏　909　司生堂醫院　電話三〇六五番

洋服、コート、オーバー、長トンビ調製　見本地質定價表御申越次第御送付可致候　京城太平通　電話三〇〇　京城日報代理部

汽車

京釜線（南行）　同（北行）　釜山連絡　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）　同（南行）

第五版

京城日報

二十九日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金五十五錢 ▲三ヶ月金一圓六十錢 ▲郵税一ヶ月金十五錢 ▲前金に限り六ヶ月分金四圓 ▲一ヶ年分金八圓
廣告料金 ▲五號活字一行金四十錢 ▲三號活字一行金一圓 ▲四號活字一行金六十錢 ▲六號廿字詰一行金二十錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號(編輯局三四五番・營業局二一六番) 振替貯金口座京城三〇〇番

……船主として社船側に[illegible]船共採供船全部逓信省に回答濟と共に社船社外船並に初めて具體的交渉の第一步に入りたるものにして米國政府は[illegible]なりたるを以て二十四日社船側は入りの回答を待ち正式に船舶を提出せる希望條件なるものは是又逓信當局に於て[illegible]郵船東洋汽船大阪商船の三社に於ても[illegible]て希望條件を一括して逓信當局に船を提供すると共に細目に亘りての船主としての希望[illegible]

[illegible]れども社船は多くの定期航路を有し之が補充に高率の傭船料を要し爲めに蒙る打擊大なるを以て條件は社外船と同樣ならしめられたし[illegible]五圓を附加する[illegible]に假りに日本大西洋の保險率を八[illegible]年以内三百五十圓にして唯之に一物を提供するの特典あるが故[illegible]米國航の貨物少きが爲め運賃の低下を來し[illegible]市に延期の交渉ありたきこと其他實際船舶を提供するに伴つて生ずべき各種の實際問題に對する希望條件等なり[illegible]

[illegible]確定を見るは猶ほ數日を要することゝなるべしと(東京)

歐洲戰局

京城日報

西部戰線に於ける獨逸軍大攻勢を取るべしとは、客臘以來世人の共に期待したる所にして、英佛軍の對應の施設亦至らざるなかりしや言を待たず、近報果して獨軍活躍を開始し來れるあり、世皆之を目して西部戰線の決戰近きにあるべしと爲す、其の決戰たるや否やは未だ知るべからずと雖も、此たびの爭鬪に依りて敵味方の實力如何を檢證し得べきや論なきなり。

今春以來、英佛諸國より來る報道は、皆獨逸の西部戰線に於ける增援極めて夥多なることを傳ふると頻々、或は英佛軍能く其壓力に耐ふるや否やを氣遣ふものなきにあらずと雖も、敵が增援したりといふは露國戰場より移し來るものあるを指すに外ならず、成るほど露國にして戰を止むる以上は、獨逸は其れだけ餘力を有する道理なれども、露國革命以來其軍隊は逐次其兵を他に移しつゝありたれば戰鬪能力を失へる爲め、獨逸は客臘又は今春に及びて新たに西部戰線に移し來る者は、蓋し幾くもあるべからず、且英佛軍は初めより敵に對して遙かに優勢なり、加之今や米軍の來り加はる者あり、假令敵軍增援を得たりと云ふも、味方を壓服するの勢力なきや明白なり、況や敵の大攻勢を取るべきを豫期して大に此に備ふる所あり、大防禦は大抗拒策全く成れりと云ふに於てをや、今日獨軍大躍進を開始するも遂に大に爲す所ある能はざるや言を待たず。

今日西部戰線の戰鬪に關する報道甚だ區々なれども、敵軍は犧牲を拂うて猛進し、或地點に於ては味方の後退を餘儀なくせる處なきにあらず、又獨逸は據點せりと云ふも、今日は則ち其死勇を鼓して萬一を僥倖せざるべからざるの時なり、加之日月を重ぬるに從ひ其武器砲術亦新たなるものあり、此度の戰鬪は則ち獨逸の最大努力を盡すべき場合なれば、其動作は必ずや見るに足るものあるべし。

併しながら獨逸の最大努力を盡すの日は、則ち其最後の運命を決するの日なり、若し戰局の大勢上より云はゞ中歐同盟は徐ろに現狀を維持して持久の計を取るに利あるが如くなれども、獨逸の國情は早其の久しきを持するを許さず、是れ其の大犧牲を拂ひ大危險を冒して最後を急ぐ所以にして、彼にして猛進に是れ專らならしめば、其前途や知るべきのみ、或は敵は波斯を占領し、亞富汗より印度を衝くべしと爲し、或はメソポタミヤ英軍危地に陷るなきかを氣遣ふものありと雖も、此の如きは餘りに敵の實力を買被りたる沙汰なり、獨逸は刻下歐西亞の處理に忙はしく、其のペトログラードを占領すべし、莫斯科を占領すべしと風聽すること久しと雖も、其すら虛聲のみにして、實際は其邊までは行き屆かず、露國に在るところの俘虜を以て新軍隊を編制し、之を支那及び印度に發縱すべしなど、取り留めもなき風說を作して、人心を動かすの資と爲すもの多し、畢竟今日世間恐慌を懷くものゝ如きに乘じて、之を翫弄せむとするものに外ならずして、今や彼の全力を西部戰線に傾倒して猶ほ及ばざるを提るゝの姿あり、豈復た顧みて他に手を著くるの餘力あらむや。

今期議會の成績(上)

一記者

○第四十回帝國議會は、二十六日議事を終了し、翌二十七日を以て閉院式を擧げさせられたり

○顧みれば前大隈內閣以來、衆議院の解散三回、此の繁多なる時局に處して、政府は年次完全なる豫算を有せず、僅かに前年度豫算を踏襲せる外、緊急已むを得ざる國費に對してのみ臨時議會の協贊を求め、辛うじて國政を處理し來り、諸般の政務、克く時勢に順應し能ふべきやの憂慮に堪へざるものありしが、今期議會に於ては、愼重審議の上總額八億二千餘萬圓の歲計に對して協贊を與へ、政府をして國防の充實、產業の開發、敎育の施設、交通機關の整備、其他萬端の事務に於て、遺憾なく其經綸を行ふを得せしむるを致せり、吾人は邦家の爲め洵に慶賀に堪へざる也

○然かも議會の開會に方りてや、歐洲の戰局彼が如く、隣邦支那の國情亦非にして、國際關係の繁劇緊常ならざるものあり、更に國防の充實、內治の改善等、大小幾多の問題は、職掌を販はすに十分なるのみならず、政府は空前の時局に對應すべく八億餘千萬の豫算を提げ、且つ再昨年度來の決算を以て議會に臨まんとす、果して何人か今期議會の如く和衷審議、平穩に會期を終るべく豫想したりしぞ、或は政府與黨の絕對多數を占むるの故を以て、甚だしき波瀾の捲起すべからざるを想見したるものありしならんも、政海の情僞は、爾かく單純なる見解に依りて其の眞を捉ふべくもあらず、政國二派、政府の與黨なりと雖、其消長は國民の信賴如何に由て決す、黨人固より之を熟知す、政府の政策妥當、殊に誠意を以て議會に對するにあらざるよりは、其位置の安全をすら、得て期すべきにあらざりしなり、況んや政黨の操縱をや

○顧りみて今期議會の成績を檢するに、憲政會の提出したる政府彈劾案を中間の餘興とし、船舶管理令の事後承諾を求むる件、暴利取締令の適用、銅片拂下問題等、小波瀾の立騷げる無きにあらざりしも、重大なる案件に至りては、政府の提出せる選擧法別表改正案及び、政友、國民、憲政三派の各別に提出せる選擧法改正案の或は撤回、又或は否決されたる外、殆んど議了せられざるは無く、法律案三十餘、豫算案七、事後承諾案二は全部其成立を告げ、尙貴族院令中改正法律案即ち互選に依る有爵議員增員の件亦貴族院に於て成立せり、眞に能く定めたりと謂ふべし。

○右の內、特に朝鮮に關係するものを擧ぐれば、朝鮮事業公債法中改正法律あり、朝鮮人官吏の恩給退隱料及び遺族扶助料等に關する法律、朝鮮銀行法中改正法律、共通法規、朝鮮の生產に係る物品の移入稅免除に關する法律、輕微なる手傷をも負はずして通過したる朝鮮特別會計歲入出豫算等あり、又內地と共通にして等しく惠澤を蒙むれるは小額紙幣の發行を認めたる貨幣法中改正法律あり、孰も緊切なる案件なるが、就中朝鮮總督府特別會計部豫算及び事業公債法の通過は、歷次本紙上に報道したる其等の使途に鑑み半島の現狀に照らし、恰かも渴して水を求めて之を得たるの心地せずんばあらず、尤も豫算の編製頗る穩當、其歲入中最も多額に增收を見積られたる地租の如きすら百五十八萬圓を計上せるに過ぎず、當局が朝鮮の民度に稽へ、慘憺たる苦心の餘に成れるもの、無事に議會を通過せる固より其處なりとす。

九州視察團=團體種別

朝鮮、九州兩鐵道局格別の贊助に依りて主催兩社は從來比類なき理想的團體を編成實行する事となれり

◎福岡市開催 九州沖繩物產共進會視察
◎久留米市開催 全國發明品博覽會見學

福岡縣人團

京仁在住の福岡縣人諸君にして歸省を主とし、福岡共進會、久留米博覽會視察の外九州廻遊の要なく自宅、親戚、知友等あり旅館宿泊の必要なき諸氏は往途博多驛下車一時解散、歸途博多驛乘車合同、豐州線耶馬溪滿遊、別府二泊溫泉浴、大分視察等を加へ

◆會費 金四拾圓

を申受く多數同縣人參加を俟つ

大分縣人團

京仁在住大分縣人諸君にして福岡共進會視察の外九州廻遊の要なく豐州沿線に歸省する諸氏の便宜を圖り大分縣人團を組織し十九日朝福岡に本隊と分離各歸省等自由行動(其間は經費自辨)廿四日中津又は別府の兩所にて再び本隊と合し耶馬溪遊覽別府溫泉浴を共にして歸鮮す

◆會費 金五拾圓

全鮮地方團

京仁團以外九州廻遊視察團に參加せらるゝ諸氏の便宜を圖り西鮮、湖南、南鮮の各要地より參加を求め會費八十圓を標準として汽車賃を增減したる會費

◆西鮮團(平壤鎭南浦)八十五圓
◆湖南團(大田群山)七十九圓
◆南鮮團(釜山馬山)七十圓

各地よりの參加諸君は主催兩社又は支局宛申込みあれ

婦人團

今回の視察團は御希望に依り日鮮婦人の參加を歡迎す、但し夫妻、親子、兄妹等の關係ある保護者の同行を必要條件とす、會費行程等は勿論男子團と同一也

御注意

※※※※※ 但し左記特種便宜の福岡大分縣人及び地方人三團體の何も參加者廿名以上と云ふ朝鮮九州兩鐵道局の條件があり升

此理想的團體の發表は一般の贊同を得て會員早くも半數に達す締切期四月五日!最好機會を逸せらるな

主催 京城日報社 每日申報社

北滿西伯利在留鮮人の近狀(一)

北滿洲及び西伯利に多數の朝鮮人が居留せることは一般に知られて居る、併し是等鮮人の移住は日韓併合の數十年前から始まつたもので、現今幾許の數に達して居るかを精確に知ることは出來ない、最近同地方を旅行した某氏は用務の餘暇を以て其人口より職業等を調査した、之に依れば鮮人の近狀を詳にすることが出來る樣である、即ち北滿洲、後貝加爾以東の西伯利各地及び西部西伯利の各部に分ちて之を摘錄することゝした

北滿の鮮人

北滿即ち吉林省及び黑龍江省在住の朝鮮人は一萬餘人を算す、其分布は、東清鐵道附屬地內には比較的少く、附屬地以外の附近部落に多い、尤も長春、哈爾賓は例外だ、此の兩地を除いては寧古塔、吉林省穆稜縣の八面通、東寧縣の帝安府等は最も多い、其の鐵道沿線の各驛に少き理由は鮮人の最多數が農業に從事するからで、豆、高粱等を耕作して居る、間には米作を爲すものもある、同地方へ初めて鮮人の來住せしは今より幾十年前であるかは判明しないが、前記穆稜及び同省の東寧縣は來住最も久しく、中には二三十年の長きもある、寧山縣に於けるものは日韓併合の前後から、哈爾賓には千九百年東清鐵道布設以後、又長春には我國の新市街經營後に來住したるものである、左に長春以北の各地に在住せる鮮人の近狀を擧ぐ

▽長春 同地の在住者は男五十八女七十五合計百三十三人なるが、男子は雜穀商を營むものが最も多い、宿屋營業もある、煙草會社の雇人もある、職にあり著けずして遊むで居る者も亦尠くない、女子の過半數は賤業者である、鮮人賤業婦は哈爾賓其他一二箇所にも多少は居るが長春程多くはない

▽哈爾賓 在住鮮人は男二百五十一女六十九合計三百二十九人である、定住者は右の通りであるが、醫師、雜貨商等相應な生計を營む者もあり、多くは被傭人である

錺(三十二)

布施生譯

その機を外さず學士は種々考へ定めた順序のまゝに、其の日自分が輕地の宅へ往逢はせたことから話起して、その數日前夜遲く自分の宅へ來た怪しい男、それが織衞であつた事、織衞と自分との關係、織衞の戀人の町子の話、輕地の經歷から今度の一條まで殘る所なく話を進めた、頗る稀な珍らしい話を上手な話者と聞惚れて居た國王の足下に俄に慴伏した學士、王ははつと思うたがもう遲い、學士は熱心に織衞の寃罪を訴へて特赦を願つた、迷うてゐると學士は根強く願を繰返して只今御座に此お願をお聞屆け下さるわけに參りませぬ事ならせめて其町子に謁見をお許し遊ばしてと歎願した、王の心がやゝ動きかけたと思ふ途端、部屋の入口が開いて何か緊急な書類らしい物を持つた書記官が這入つてきた、學士は思はず冷りとした、折角の處で話の腰を折られて今迄の苦心が空となるのでは有るまいか。學士が其心配で氣が氣で無いのも構はず書記官は王の傍に步寄つて書類を御覽に入れながら何やら潜々耳打した、王は聞終つて座へ戻ると少時は椅子にも懸けず困り、學士の方には目もくれずに何か一人で考へながら頻に部屋の中を彼方此方と步いてゐた、學士は氣が氣でない、折角八分まで漕付けながら肝心の處で躓いて結局今日の謁見はこれぎりとなるのではあるまいか、學士は胸を騷がせながら右思左考如何したらもう一度王の心を今の話に惹寄せられやうかと苦しんだ、碧の方も傍に居たが之は唯もう一圖に王の顏色を窺つてゐるぐらゐだらうぺいの性質故此場合固より氣轉を利かせて何か氣の利いた一言で一間の空氣を換へるといふやうな事が出來る筈は無い、三人三樣の思で所謂三すくみになりかけた途端、王は不圖眼を擧げると丁度此方を見てゐた碧の方の視線と衝突した、御寵愛の妃の姿を見ると王は忽ち今の話の町子の事を憶出したのであらう、それとも好色の本性で若い娘と聞けば一目でも見たくなつたのであらうか、王は忙しく學士の方を振回つて「いや學士其町子とやらに逢つてみても宜しいが…

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

一、始興郡北面黑石里貳百參番地 田八十八坪 最低競賣價額金參圓也
一、同所百四番地 田百四拾坪 最低競賣價額金拾參圓也
一、同所貳百拾壹番地 田貳百八坪 最低競賣價額金拾圓五拾錢也
一、同所 野 貳反壹畝九合五勺 最低競賣價額金百四拾壹圓也
一、同郡北面本洞里貳百七拾六番地 畓四拾坪 最低競賣價額金拾六圓也
右不動產所有者 野口藤太郎
競賣申立人 槇嘉市

◉京城府堅志洞五拾六番地
一、垈貳拾五坪 最低競賣價額金貳百參拾八圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪[illegible]
此最低競賣價額金壹百六拾貳圓五拾錢也
右不動產所有者 金洪秀
競賣申立人 李環直

◉京城府[illegible]洞參番地
一、垈參拾貳坪 最低競賣價額金貳百貳拾四圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪[illegible]
此最低競賣價額金[illegible]八圓也
右不動產所有者 洪完植
競賣申立人 尹秉謨

◉京城府[illegible]
一、垈[illegible] 最低競賣價額金九百拾五圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪四拾四坪九合六勺
此最低競賣價額金四百九拾七圓五拾錢也
右不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 京城銀行 金宇榮

◉京城府寬勳洞百四拾參番地
一、垈拾參坪 最低競賣價額金參百拾貳圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪四坪壹合五勺
此最低競賣價額金壹百四拾圓也
右不動產所有者 高永治
競賣申立人 李康明

以上競賣期日ハ大正七年四月拾日午前拾時トス

◉京城府和泉町百五拾四番地ノ壹
一、垈百七拾四坪 最低競賣價額金七百拾五圓也
右不動產所有者 李環洪
競賣申立人 金植秀
以上競賣期日ハ大正七年四月六日

◉京城府和泉町百五拾四番地ノ參
一、垈四拾參坪 最低競賣價額金七百貳拾五圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟 建坪四坪五合
此最低競賣價額金百七拾貳圓也
右不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 京城銀行 李宇榮

◉京城府和泉町百五拾四番地ノ貳
一、垈貳拾坪 最低競賣價額金八拾八圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟 建坪四坪參合八勺
此最低競賣價額金八拾八圓也
右不動產所有者 京城銀行 李宇榮

◉楊州郡隱縣面上牌里八百八拾六番地
一、垈千八百九拾坪 最低競賣價額金七拾六圓也
一、同所六百九拾五番地 最低競賣價額金壹圓也
右不動產所有者 李京城
競賣申立人 張金泰亨

◉京城府本町壹丁目參拾參番地
一、木造瓦葺貳階建本家壹棟
內 一階坪參拾六坪六合四勺 二階坪貳拾六坪四合四勺
外ニ 附屬建物
最低競賣價額金參千六百四拾圓也
右不動產所有者 河村千代治
競賣申立人 藤山千代治

◉京城府[illegible]洞貳百九拾參番地
一、垈[illegible] 最低競賣價額金貳百貳拾圓五拾錢也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此最低競賣價額金[illegible]
右不動產所有者 原田平山
競賣申立人 安政治

◉京城府[illegible]
一、垈百六拾坪 最低競賣價額金七千參百八拾圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺貳階建本家壹棟 建坪[illegible]
右不動產所有者 柳秀亨
競賣申立人 安鎭洙
以上競賣期日ハ大正七年四月拾參日午前拾時トス

◉高陽郡崇仁面敦岩里
一、田參百九拾參坪 最低競賣價額金六拾四圓也
一、同所[illegible] 最低競賣價額金貳拾五圓也
一、畓[illegible] 最低競賣價額金拾參圓也
右不動產所有者 池龍義
競賣申立人 金起鎭

◉高陽郡漢芝面下往十里
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此最低競賣價額金[illegible]
右不動產所有者 朴延
競賣申立人 東京建物株式會社

◉京城府[illegible]
一、垈[illegible] 最低競賣價額金六百九拾六圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
右不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 漢城銀行 金昇鉉

以上競賣期日ハ大正七年四月拾日午前拾時トス

京日案內

▲申込後中途解約中止の節は料金不返戾
▲六囘以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は必ず返信料御封入を乞ふ

普通

◉店員入用 年齡十七八歲以上但要保證人 希望者は履歷書携帶來談 仁川 藤野酒造場 600
◉電氣モーター五馬力買入たし 京城長谷川町 近澤洋紙店 545
◉店員入用 十三歲より十八歲迄 京城本町二丁目 松井屋小間物店
◉代診生採用 希望者は履歷書送附せらるべし 平壤泉町 齋藤內科小兒科病院 591

看護婦入用 五名 見習 本人至急 京城黃金町二丁目 電話二八三七番 診療病院 566
朝鮮語科 英語科 新學期 三ケ月卒業 各級募集 南大門通漢城銀行前 京城青年會 581
六十八回新債券 出賣 太平通一ノ一三 電話二七九三番 朝鮮產業社 578
ゴム 玩具 寶船印 ゴム紐 太陽商會 京城太平通二 振替 553
店員及集金人入用 年齡廿歲より卅歲迄但要保證人 蓬萊町三丁目 電話二〇七九 酒見醬油店 557
藥學生募集 四月五日新學期開始 出願期日三月中 規則書は左の藥店に有之 新井 山岸 北島 宮本 梅村藥店 世藥堂 和平堂 朝鮮藥學講習所 553
舊恩給 立替 四ケ年半迄 利子月一歩二厘五毛 本人直接取引 櫻井町一ノ一九八 長谷川五〇番 博多屋本店 510
◉はねつき うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 412
鑛物各種分析 明治町二丁目 支那領事館前郵便局裏通 電話長二七一 田部分析所 398
店員入用 年齡十五六歲の者數名 京城本町二丁目 安東縣支店入川 龜屋商店 584
看護婦見習入用 希望者來談但市內に保證人を要す 京城本町壹丁目 石川醫院 567
看護婦募集 免狀有する者一名見習一名募集 希望の者は本人來談 京城醫院(電話七四一番) 京城本町二丁目 514
朝鮮人入用 十四歲より十六歲までの者 希望者は普通學校卒業程度の者 自筆履歷書携帶本人來談あれ 京城南大門通二 堀井謄寫堂出張所 506
▲落葉松苗木 販賣 造林の好時節多少共御用命を乞ふ 京釜線芙江 高瀨苗圃 601
店員入用 十四五歲より二十二歲迄 但市內要保證人本人乞來談 京城本町二丁目 ちゃぶや 599
◉望代診 年三十一歲有妻者 多年各科經驗有り 東京府近の病院に 東京市深川區東六間堀町二六 高橋與市 567
募集 新聞配達人數名 希望者は履歷書携帶來談 大漢門前 盛文堂 596
運送業に經驗あるもの數名入用 希望者は左記へ來談又は履歷書送れ 仁川 京城日報支局 571
◉算筆の出來る夫婦者入用 但年齡四十歲以上にして子供なき方 新町 君の江 [83]
◉裁縫師數名入用 但技術熟練のもの 希望者至急照會あれ 開城大和町 廣島屋洋服店 075
店員募集 運送業に經驗ある者 希望者は履歷書携帶來談あれ 京城鍾路二丁目 丸二運送組 537

○プールクール大砲千門集中

獨軍はプールクール地方にて約千門の大砲を集中し十五碼每に一門を配置し又た從前二個師團にて攻擊せる狹小の正面に對し八個師團の兵を蝟集せしめたり、從つて開戰以來今回の如く獨軍の多數戰死したる事は未だ曾て之れあらずと(倫敦電報)

○獨長距離砲新装置

彈丸の直徑二百四十粍

獨逸の長距離砲は後栓裝置にて即ち第一彈より第二彈を第二彈より第三彈を發射せしむ可き裝置となり居り巴里郊外に落下せる彈丸は二百四十粍の直徑を算せり(巴里電報)

○ペロンヌ占領歡喜

獨帝及びヒンデンブルク參謀總長は去る日曜日ペロンヌを訪ひたり獨逸國內にてはペロンヌ占領を歡喜し各戶國旗を揭げて休業せり(アムステルダム電報)

○英米の和蘭船徵發

米國は二十日夜其領海內に在る和蘭商船七十七隻(約六十萬噸)を徵發せり又英國も同樣四十萬噸を徵發せりと(華盛頓電報)

○哥薩克頭目の旗擧

ボウラニチに於て哥薩克の頭目カルミコフと云ふもの哥薩克を集め穩和派擁護の旗揚を爲し烏蘇里地方より哥薩克の加擔するもの頗る多し(長春特電)

○荷役人夫同盟罷工の影響

浦鹽にては荷役人夫賃金値上を唱へ同盟罷工を爲せり爲めに同地は混亂中なるが若し値上に應ずれば烏蘇里鐵道は破產の運命に陷る可しと猶同地の過激派は電信局を占領せるも局員逃亡せし爲め電信不通となれり(長春特電)

○兩廣の全兵力を擧げて

龍濟光及び湖南軍に對抗せん

陸榮廷、唐繼堯氏等の南方首領は段氏の復職に憤慨し兩廣の全兵力を擧げて龍濟光及び湖南軍に對抗せしむると共に四川よりも出來得る丈け援兵を派遣する由是れに對する段總理の意嚮は守勢を執りつゝ逐次妥協の步を進むるにある如し(北京特電)

○ヴェルダン白兵戰

ヴェルダンは目下白兵戰進行中なり(倫敦電報)

□宮中午餐會

天皇陛下には二十八日正午伏見宮貞愛親王閑院宮載仁親王兩殿下を宮中竹の間に召され午餐會を催ほさせられ同時に石井大使、佐藤大使、日置公使、畑公使等に御陪食を仰せ付けられたり(東京特電)

◎獨逸戰費

獨逸議會に於ける大藏大臣の說明に依れば戰費は大正四年末より丑年春迄一箇月平均二十億萬馬克なりしが最近五箇月の平均は一箇月三十七億五千萬馬克なりと(倫敦電報)

○南軍撤退

二十五日長沙に於ける南軍撤退せり(北京電報)

○湖南督軍

二十六日張敬堯氏湖南督軍に任命せられたり(北京電報)

◎東拓鑛業金融

東拓京城支店に對し西鮮某鑛業者より鑛業金融の申込みありし事は既報の如く東拓としては會社法改正實施以來の新施設に付愼重の注意を以て鑑定人を東京より招致し機械方面は京城電氣の村尾技師に委囑し約十日前より鑑定に取掛りしに付遠からず左右共決定を見るべきが右申込中のものは黑鉛鑛を主とし約十萬圓のものなりとの噂あり其他に鑛業試掘上の資金融通申込み二三にして足らざる由なるも會社にては採鑛精煉中のものならば一考すべきも試掘上の資金は危險多く鑑定の方法も立ち難く到底貸出しをなし難しとの事なり

◎郵便規則改正

遞信局にては郵便規則中一部の改正をなす事となり多分二十九日の官報にて發布さるべし內容は過般行ひたる遞信省の改正に則りたるものにて四月一日より實施すべし

◎久原買鑛中止

影響は微弱ならん

久原鑛業會社にては朝鮮に於ける亞鉛鑛及び鉛鑛の買鑛を今回中止する事となりしが右事情及び影響に就き聞く所によれば久原の亞鉛及び鉛鑛石の買入は右鑛石其物を主とせしに非ず鑛業家が金銀鑛石採鑛の際副產物として採鑛せし分の依賴に應じゐたるもの、由にて亞鉛鑛は兵庫縣家島に於ける製煉所に送致し鉛鑛は鎭南浦にて精煉する事となり居る由なるが運賃の暴騰並に精煉用品の暴騰は到底現價の買鑛にては不引合なるを以て一時中止せしものゝ如く其內時機を見て開始するやも圖られずと又影響としては一箇月兩種合計百噸の鑛石に過ぎず且つ鉛鑛並に亞鉛鑛を專門に採掘しつゝある者は甚だ少なきを以て鑛業者の打擊程度は極めて微弱のものならん

◎地方費追加豫算(京畿)

京畿道地方費歲入出豫算大正六年度に於ける追加豫算は歲入臨時部に於て第三款中第二項敎育費補助金に百九十九圓を追加せる結果第三款國庫補助金に於て百九十九圓の追加となり歲入臨時部合計二十四萬一千五百七十二圓歲入總計八十一萬六千四百三十一圓を算し歲出經常部に於て第六款敎育費追加百九十九圓乃ち第一項仁川公立商業學校費追加百二十五圓及び第三項公立簡易實業學校費追加七十四圓とを以つて歲出經常部合計四十八萬二百九圓歲出總計八十一萬六千四百三十一圓となれり

◆玄關と勝手口(三)

鴨綠江に育まれたる兩都

=木材=

前回、安東縣に於ける十餘の製材所は、世間好景氣の爲めに非常な利益を擧げ、前期の如きは孰れも年十割位の配當をしたことを記した、採木公司の要位に在る某君は曰く、昨年の流木は百五十萬連價格は

▽前年の五割高　加之に銀高と來て之が平均五割位の儲け、チョット倍程の增收に成つてゐるだらう、と、以て隊木鳥諸君のホクホク加減を察すべしである(註に曰く、滿洲では豆で儲かる人に豆、木材で太る人に隊木鳥といふ異名を呈して居るさうだ)木材が好調であれば安東が賑ふ、安奉線開通當時、日本人の來住者が急激に增加した、其の後反動の氣味で大分減じ三千弱に下つて居たが、近來復た盛返へして四千を數ふる有樣、支那街の方も人口こそ格別殖えないが市況は殷賑を極めて居る、若し夫れ筏の著く

▽七八月頃にも　なれば、支那街は盆と正月が一時に來た樣な騷ぎ、安東に落合ふ支那筏夫の數が一萬乃至一萬五千とは少々驚かされる、その筏夫と木材に就て某氏は次の通り語つた「鴨綠江材といふのは紅松、杉松、落葉松の三種である、朝鮮側は丸太、支那側は角材に削つて流して來る、それで營林廠の木材と採木公司のとは一目して分る、支那側の筏夫は山東省から、朝鮮側の筏夫は吉野川で訓練を經たの奈良縣から來る、日本の筏夫は一人で流し支那のは、大概九人乘つて居る、而かも九人乘の支那筏が

▽安東迄二箇月　も要すところを、日本筏夫は半月で到著する、斯る甚だしい遲速の差ある原因は一口に云へば日本式と支那式の相違、詳しく云へば先づ筏の組方から異ふ、日本式のは船形に無造作に繫ぎ合せてあるが、支那式のは長方形に至極入念に組むである、日本式のは岩にでも衝突したら其部分だけ切れて放れるから元の通り括り著けるのに手間はかゝらぬ、それで頗る大膽に成るだけ急湍を撰ぶ、筏から滑り落ちても水泳に熟達して居るから苦もなく這上り、鼻唄もので弄下する、支那式のは入念に組むではあるが

▽一部を破壞し　たら全部を組直さねばならぬ、從つて流の緩きところを行ることに成る、然乃ち登山水樂の香氣さは味はれるか知れぬが、金稼ぎには不向きだとあつて一度日本筏を眞似て見たがさても、支那の筏夫は水泳を知らぬのと、足の拇趾が能く利かないので、お粗末な日本筏に乘つて木材が濡れると滑り落ちる、落ちるを溺れる、到底も危險で乘れないそうだ」挿話が甚だ永くなつたが、恁うして安東へ流された木材が、現今でも每日安東驛から五六車乃至十車位滿洲へ送り出されつゝあるのだ

◎承認運送店規則改正

滿鐵會社にては今般京城管理局線內承認貨物取扱人の規則を改正し來る四月一日實施することゝなりたるが全文十二箇條よりなり其の要旨を拔萃すれば左の如し

一、承認運送店たらんとする者は京城管理局の承認を受くべし

一、承認運送店は其の託送に係る貨物の朝鮮線內運賃に對し割戾を交付す但し速達便扱及特に割戾を交付せざることを定めたる場合は此の限にあらず其の運賃額割戾步合及本規則施行に關する事項は別に之を定む

一、承認運送店は大貨物運賃及び料金を一日分取纏め仕拂ふことを得(仕拂期日は驛長之を定む)

一、承認運送店は貨物の取扱を丁寧にし荷主より不當の賃金又は料金を收受すべからず

一、承認運送店は別に擔保を提供し且保證人を立つべし

一、承認運送店に不都合の所爲ありと認むるときは京城管理局は承認の停止取消又は割戾率の低減を爲すことあるべし

◎中旬鮮鐵收入

滿鐵京城管理局に就き三月中旬營業收入を聞くに乘車人員二十二萬九千九百七十五人小手荷物斤數四十七萬九百四十一斤貨物噸數六萬五千九百十八噸にして之に對する客車收入二十萬一千五十二圓貨車收入二十萬二千百二十二圓合計四十三萬三千百五十圓なり今之を前年同期に對比すれば乘車人員に於て十五萬九千三百十一人小手荷物に於て三十七萬三千九百七十九斤貨物に於て五萬九千五百八十噸を何れも增加し之に對する運輸收入に於て實に二十九萬八千八百九十五圓の增收なるが更に一日一哩平均收に就て見るに本年度は三十六圓九十二錢にして前年度の八圓八十八錢に比し二十八圓四錢の激增なりと

大阪財界便り

△生絲界前活躍　生絲界は米國の制限發令に狼狽暴落を演じたる以後米國參戰の結果砲彈包裝用並に飛行機製用の絹布需要激增し假りに從來の普通需要生絲は贅澤品として最高一割の制限を受くるものとするも軍需の增加從來輸入商の三四割に上るべきを以て寧ろ輸出は樂觀すべき確實の豫想起りしと其後米國を始め歐洲交戰國の需要は昨春に劣らざる勢を呈したるとに依り暗潮を一掃せられ千二百七十八圓臺より千百圓臺に暴落せし相場は二月初頭より漸次恢復に向ひ三月に入りては需要益々好況に伴はれ千二百五六十圓臺に恢復し一昨十八日の如きは歐米向き商館一齊に買進み人氣頓に活躍して安値に貨物なく下値のものは僅に引返し信州の上一番は三千圓商を以て千三百圓の新取引行はれ昨年の大好況期にも千三百圓の大關門なりしに目下春挽出揃に到らざれば前途は尙ほ增多きを控へながら易々と此關門を拔きし以上は人氣益々上擢りして商戒も緩み穩健の調子を破りて豫期以上の高相場を現はさんも測り難く既に千四百圓說唱へられ生絲界は新年來に天井破りを演じ空前の活況を呈し居れるがコハ全く米國參戰の好影響なりと

△在露邦商困惑　浦鹽其他露領に開業せる邦商人は露國革命前迄は頗る好況なりしが最近過激派の跳梁と共に商業不振となり北露及び歐露との取引杜絕し僅かに開業地に於て小貿を營み居たるが浦鹽の如き過激派が賣上に對して五分乃至一割の手數料を徵收する爲め殆んど利益を見る能はず邦商の閉店するもの日に增す有樣にて西伯利亞方面の秩序回復せられず此儘に推移せんか遂に折角築上げたる本邦商人の利權は悉く消滅する外なき有樣なり

△青島取引變調　某所來電に依れば近時青島市場輸入貨物の取引は支那商が銀塊先高輸入貨物先安の見込みを付けるもの多く取引手控へなるが一方濟南商人の自由來青を妨ぐることゝなり土產物の輸出取引中絕して以來支那商の金融意の如くならず從來の現金取引の美風も破壞せられて漸次に延取引の弊態に逆轉せんとしつゝあり斯くの如き實狀なるより其變調を利用し機敏なる輸入商は濟南方面各市場に輸入貨物を送致して同地方に於て現金取引を以て有利に賣捌かんと商略を試みるもの出でし結果青島大港の輸入貨は激增して日々十車以上に上り頗る好況を呈し來れるが一方輸出貨物の恢復と山東省奧地との自由往復出來る時に到らざれば青島市場の一般取引は依然不振を免かれざるべく日本品に對する需要も捗々しからざるべしと(大阪支局)

◎豆滿江の解氷

本年北鮮地方の氣溫は例年より暖く既に河川は解氷したるが豆滿江の如きも下流慶興附近は二月二十三日頃より既に解氷の個所あり日中の氷上渡江は危險を感ずる程なりしが本月十七日に至り愈々全部解氷し渡船を以て對岸に往復するに至れり之を前年の解氷二十九日なりしに比すれば約二週間早しと尙ほ豆滿江結氷は漸次上流に及ぼすが例なれば會寧地方も近く解氷を見るべし(淸津)

◎淸津開港記念日

明治四十二年四月一日開港の淸津港は本年を以て恰も十周年に達するを以て當日は盛なる記念祝賀會を催すべく過般來委員を設けて種々準備中なるが祝賀會餘興にはマラソン、相撲、藝妓手踊、打揚煙火其他の計畫あり又た記念繪葉書も發行すべく當日は未曾有の盛況を呈すべし(淸津)

◎自動車運轉開始

今回營業許可を受け居たる大邱忠州間自動車は三月廿五日より又慶北榮州乃城間自動車は三月二十一日より何れも運轉を開始せり

◎慶尙南道果樹手入

慶尙南道管內に在る果樹園約二百町步(苹果)に對し手入をなすべく同道廳は本月上旬より專門技術員を派し檢査中なるが釜山府及び東萊郡は振も不成績の由因に該技術員は目下東萊郡に於て檢査中なりと

◎慶北苹果搬出近況

本月二日より廿六日までに慶尙北道果物同業組合の檢査を經て各地に搬出したる苹果は特等百七十五箱、同上一等四百五十四箱、二等二百廿箱、三等百七十二箱、計一千廿一箱にして仕向先は主として京城、哈爾賓、長春、安東縣、種類は國光、倭錦の二種なりと

◎京城郵便局雇員採用

京城郵便局にては今回雇員を採用すべく近々試驗を行ふ由なるが志願者は年齡十六歲以上四十歲未滿の男子にして程度は高等小學校卒業以上なる志願者は至急同局庶務掛に申出づべしと

◎外國貨物取扱驛廢止

鐵道院にては同線內外國貨物の取扱を爲し居れる[illegible]廢する旨京管局に通知ありたり

安東驛過鎭江山臨濟寺呈佛海和尙　東邨　持地六三郎

禪○關○占○據○鎭○江○山○　豪○氣○堂○々○壓○朔○京○　佛○祖○老○師○猶○如○海○　高○談○放○飲○客○忘○還○

一宿五龍閣雜吟　四首

其一

五○龍○背○上○別○天○眼○　藹○々○雲○煙○繞○玉○岑○　一○浴○靈○泉○塵○垢○盡○　恍○疑○身○是○到○蓬○萊○

其二

高○閣○長○廊○鐵○路○隈○　靈○泉○沸○々○洗○氛○埃○　女○中○傑○物○經○營○處○　山○勢○如○城○映○酒○杯○

其三

滿○鮮○境○上○五○龍○閣○　惟○一○樂○園○名○不○虛○　應○接○情○濃○風○景○好○　儘○敎○行○客○意○安○舒○

其四、(閣以滿鮮境上惟一樂園自稱故及)

一○別○安○東○塵○境○界○　溫○泉○水○滑○想○瑤○臺○　只○無○麗○質○楊○家○似○　空○使○騷○人○漫○去○來○

◎西部戰場情勢

英佛軍悲觀に及ばず

[illegible]

戰は佛軍の逆襲に遭ひて稍猛烈を極めたるの觀ありしが去廿日に至り獨軍は愈々[illegible]始したり而して英軍[illegible]面に於ける獨軍の砲擊はサイ[illegible]河よりバッ[illegible]ム、カンブ[illegible]及び他の一英軍正面に於ける[illegible]に至らざるもランスを中心とせる地點に於て盛に砲擊繼續中なり[illegible]

▲現狀を維持　[illegible]せるもの、[illegible]

[illegible]在の全く明瞭に確認されたるもの佛戰線に於る現在敵味方の兵力は白佛方面に百八十二個師團伊國方面と大差なく飛行機、砲等の機械[illegible]

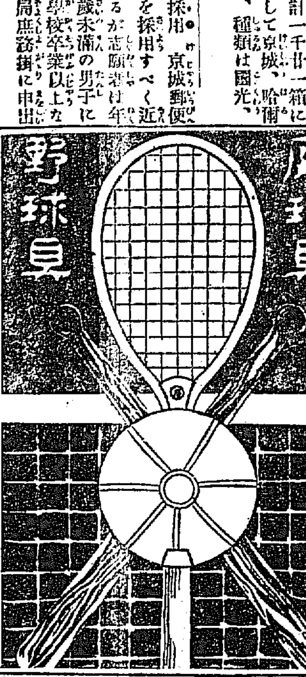
▲今日の狀態　恐る可きものあらむも[illegible]を以てしは[illegible]遂したるものにして防備の如きも比較的薄弱なるを免れず而して獨軍は久しく自己の占領し居たる地[illegible]なる方面に如何なる[illegible]を用ふ可きや豫測し難し之れ獨軍從來の好手段にして其行動は最も注目を要[illegible]

○霰彈○ストーブ
○魔法瓶○中瓶取替
地方御注文は特に便宜御送付可致候
朝鮮京城本町三丁目
和洋金物商　佐藤半次郎商店
電話二四三　振替口座京城一三三〇番

一週年記念高麗蔘越幾斯新發賣
春陽來復茲に謹んで高堂各位の御壓福を新上候陳者弊商會江湖の御愛顧を蒙り開業以來日に增し業務隆盛を來し茲に一週年を迎へ候就ては一週年記念事業として今回高麗蔘越幾斯新に發賣致し候間高麗人蔘同樣倍舊の御引立を願上候
京城明治町二丁目　高麗人蔘貿易商　高麗蔘越幾斯發賣元
高麗商會
電話二九九二　振替五八六

募集　第一學年無試驗編入○幼年保護の特別寄宿舍あり
京都中學校　京都市岡崎町

在庫品概略
一吸入瓦斯エンジン(附屬品付)　拾貳馬力　壹臺　拾四馬力　壹臺　拾五馬力　壹臺　拾八馬力　壹臺
右機械は石油發動機改造品にあらず
一米國製自働磨擦圓鋸機　壹臺(但し三間挽)附屬品附
一米國製ローラ送圓鋸機　壹臺(附屬品付)
一新調品(皮シャフト・メタル)其他各種在庫品豐富
機械材料商　京城太平通り二丁目五九
安達機械販賣部　電話五九五番



京城本町　シノサキ運動具店

一從來當座預金ハ組合銀行間ノ協定ニ據リ最低殘高壹百圓以上ノ場合ニ限リ利息ヲ附シ居候處今般組合銀行ノ決議ニ基キ右最低殘高ノ制限ヲ參百圓也ニ改メ來ル四月一日ヨリ實行可致候
右廣告候也
大正七年三月
株式會社朝鮮銀行
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
同　龍山出張所
株式會社漢城銀行
株式會社漢湖農工銀行
株式會社京城商業銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行

最新刊
袖珍自在 最新和英辭典　特　一、三五
字句活用文章講義　特　二、〇〇
分析化學上　松井元興　二、五〇
大正名人錄　島內柏堂　二、五〇
神秘 靈魂口よせ術　双龍軒　一、二〇
英語精髓　佐々木邦　七五
視距測法 附地形測量法　花村米三郎　六〇
蓄電池及充電法 製作法附取扱法　大日本電氣研究所　一、三五
吉本富三郎著定價八十五錢　小資本大資本最善運用秘訣
ツアラトウストラ　生田長江　一、七〇
哲理と人生　帆足理一郎　一、五〇
新時代の宗敎　姉崎正治　一、二〇
高い山から谷そこ見れば　奧野多見子　七五
灰と紫　日向きむ子　八五
全國遊覽地名勝古蹟案內　地理旅行案內　七五
早起　山本瀧之助　七五
進化と遺傳の話　高楽良興　一、五〇
甘命木屑　荻原井泉水　一、〇〇
模範新式國語辭典　第二　鈴木悅次郎　六五
新學年用文具新刊物の全部を取揃有候
大阪屋號

釜山商店案內

洋酒 罐詰 糖粉　卸商
(月刊發行)
釜山　あづまや商店
電話長三五八　振替京城三九

內外雜貨卸　長岡商店　釜山辨天町

酒精　壺入瓶詰　燒酎
西貢米 碎米　大豆 大豆粕
砂糖 麥粉　食料雜貨
釜山埋立新町　福榮商會卸部
電話長一〇八番

雜貨問屋
釜山大广町　明治屋本店

乾物 糖粉 烟草 雜貨　卸問屋
釜山　西山一義商店
電話七〇四　振替京城三〇二

釜山驛前　肥料　マルカケ商店
電話長八三　振替三九二番

[illegible]沖の各處に於て威力偵察を試み殊にヴエルダンに於ける獨軍の偵察[illegible]河に至る英軍の正面及び[illegible]河附近よりシャンパニュー附近に至る佛軍の正面に盛なる砲撃を開[illegible]十一日更に正面約千里に亙り歩兵攻撃を開始せり佛正面に於ては未だ歩兵攻撃を開始す[illegible]未だ不明なるが第一線に於ける英軍の陣地が諸處に於て略取されたるの疑ひあるも大體に於て英軍[illegible]の計畫を有するや如けれは今後如何なる行動に出づるやを測知[illegible]師等に獨軍五十九個師團換算二十三個師團ありて之等は未だ前方戰[illegible]二個師團の獨換軍が白佛戰線に悉く移送されたりとせば其結果は大[illegible]みあり唯現在の英佛軍第一線は昨手の攻勢に依りて獨軍より之を奪[illegible]の第一歩を開始したるは素より當然なりとす可きも他日更に又如何

九州視察團寫眞帖　九

耶馬溪

戰後の商戰

日本商品は不評 とても勝算が無い
＝獨逸品輸入の風說丈で下落
◇彼は全力を盡して商事の調査をもしてゐる◇
朝鮮米を輸入して紹介した

莫斯科駐商會員古川洪宮兩市作兩氏は三月二日莫斯科を引揚げ二十七日夜入京朝鮮ホテルに投宿せるが兩氏交々語りて曰く

莫斯科は露都に比べて落付がある爲め日本で想像される程の不安は感じなかつたが段々獨逸が侵入して危險であると云ふ所からして引揚げた譯である、商會の方は閉鎖と云ふ事にして來たが昨年六月に横濱を

◆積出した　貨物でやつと此頃到着するものもあり電報書信等も受取るものがなければならぬから留守番に一人の露西亞人を頼んで店員全部引揚げた、目下莫斯科の日本人商店は五六軒あつて大部分は雜貨店である、之等日本人の商賣の狀態は戰爭勃發以來獨逸品の輸入杜絕で活況を呈し原商會は軍需品の取扱ひで非常な景氣であつたけれど革命以來頓挫して了つた、殊に近來

◇日本品は到る　處不評判である何故なれば第一輸送關係上値段が高いそして品物は火事場泥棒的製造者の手に出來た粗製濫造品である斯樣な商品で什うして彼等の需用を得る事が出來樣吾々は戰後の對露貿易は獨逸品を向ふに廻して到底成算の見込が無いと思ふ此點は如何にも殘念である何とか生産者覺醒の方法は無いものであらうか、從て過般獨逸商品輸入の風說の立つて以來日本品は蘿張り

◆賣れなく　なつてしまつた事に徴しても如何に日本品が不評かゞ知られるのである然し此の風說は物資を下落させる爲めの策略で事實ではないと思ふ勿論リガ方面で少し位の取引はあつたかも知れんがそれが忽ち影響する事とは信じられぬ程のものである、それが爲め邦商は多大の打擊を受け損失を蒙つたが吾々の商會は幸に

◇朝鮮米の輸入　に依つて其償ひが出來同時に同品を露西亞に紹介し得た事は喜びに堪へぬ、吾々は戰後を如何にするかと云ふ問題よりも戰後露西亞は什うなるかを研究し其上で商業上の方針も立てなければならぬ實は日本に歸つて一番最初に聞き度い事はその問題であるが渦中にあつた吾々には此問題は全く見當が付かない、露西亞では取引上最も困難を感ずる事は

◇信用程度　を調査する機關即ち興信所が殆ど無い事であるそこに行くと獨逸は數年間に亙つて細な調査が出來て居る樣である商事部は情報を得る爲めに莫大な金額を使用してゐた戰前露國に於て獨逸領事館の豫算は二十五萬フランと云ふ事で佛國の僅か一萬六千フランに對し甚だしい相違であると云ふ迄も無く其大部分は

◇有ゆる商業上　の調査をするのであるそして出來る丈け調査に便利な機關を掌握する事に努める例へば運送會社の如き多數の獨逸人を入り込ませ又は經營して各國商品の多寡、數量、賣捌方面等を知るの便を得てゐると云ふ有樣である我對露貿易を論ずる者は斯樣な所にも著眼して研究をする必要があらうと思ふ

驅逐艦時津風遭難

＝宮崎縣戸崎岬暗礁に擱坐
◇艦體兩斷し乘員退去◇

驅逐艦時津風は二十四日僚艦と共に佐伯灣發有明灣に向け航行中暴風雨に遭ひ強烈なる濛氣の爲め展望咫尺を辨ぜず二十五日未明宮崎縣戸崎岬暗礁に擱坐し艦體は遂に兩斷し乘員退去の已むなきに至れり乘員は若干の輕傷者を出せるのみ目下附近陸上にあり僚艦及び救難船より應急救助作業中なり（東京特電）

◎善隣商業學校で 露語と支那語
語學科を新設 四月から開講

善隣商業學校にては來る四月の新學期より語學科を新設露語と支那語を教授すべく既に文部省の認可を得たるが右は夜學專修科同樣夜間も亦開設する筈にて目下總督府へ向け認可申請中なりと愈々開設の曉は双方共初歩より教授する由なるが一方日の出小學校內簡易商業學校に於ける露語教授は今三月末限り廢止すと云へば旁々京城に於ては善隣商業を除きて露語教授の機關なき事となるべく從つて同校の語學科は開設早々非常なる多忙を極むるに至るべし

十年勤續の二課長が更つた

「椅子まで取替へ　一昔前から掛け續けた椅子に別れ難く
▼遞信局の矢野監理と島田通信

一般公衆に關係の深かつた通信課長から監理課長に轉じた遞信事務官矢野袈二郎氏は曰く『通信課長として十年餘り勤續した、一體通信課の仕事は內部關係のものは少なく多く外部に交渉を持つてゐるが今度の監理課は

◇反對に　外部關係の事務は極めて少なく主要な仕事は人事とか文書とか監察とか殆んど內部の事である、從つて通信課の仕事は例へば自分が迂濶してゐてもすぐ公衆の方より注意され警告され得るやうになつてゐたが今後はさう云ふ譯には行かないので仕事の性質から見ても氣骨は折れるやうです、私も朝鮮通信事業の

◆創始時　代より今日まで關係した遞信課の仕事に離れるのは同じ局內の仕事とは云へ素より多少の殘り惜しい氣はする、殊に一昔し前から掛け續けた通信課長の椅子は掛け見合も自分に相應してどうも分れにくいやうな氣がするので二十八日の朝島出君（新通信課長）のかけてゐた監理課長の

◇椅子こ　取り交へたといふ樣な譯です。倘新通信課長の島出志良氏は曰く『矢野君とは一月そこ／＼の違ひで同じ遞信事業に從ひ均しく今日迄で監理課長として來たが、今日俄に變つて見ると同じ役所の仕事とは云へ可なり勝手が違ふ、然し通信課長の事務は十年來矢野君が頭に叩き込んでゐるから通信施設の一般周知の事なとは殊に同君の言に聞いてやつて行きたいと思つてゐる。

ハルサメ

◇豆滿　江の水力にて會寧に電燈が點く事となり國境の繁榮に一大速度を加へんとかランカイの電氣、鬼上官も地下に破顔すべし

◇鮮米　東京市場にて木浦籾白は東京二等米と同格に論り評數神力より上位なりと認められ石三十三圓位にて歡迎さるゝとは呑ばし

◇米價　天井知らずにて今に一石三十圓臺に入らんと憂慮さるゝ折柄溯つて今より四十一年前明治十一年の相場を見れば玄米上

◇越後　米一石五圓十八錢秋田の縣白上五圓八十八錢靑伊丹四斗四圓何十錢之を今の米價と酒の四十圓臺に比較せば今昔の感深し

◇門司　に是まで中學程度の學校多かりしも今度市長の骨折にて甲種商業學校設置に決し場所柄商業學校を選びたる爲め評判宜し

◇馬山　も彼岸櫻綻びしとの噂あり更に藍尚竹內臨原山に五千本の吉野櫻を移植せし處三月廿日より廿五日頃まで滿開なりと

◇東京　府下の櫻株數一萬本あり早きは上野にて遲きは小金井共に二千五百本あり向島は千九百五十本小石川植物園は二千三百本

◇赤坂　見附すら五百二十本あり割合に多きは江戸川の三百八十本と招魂社の五百五十本ならん向島は本年更らに若木多數を植付く

防寒建築案發表延期

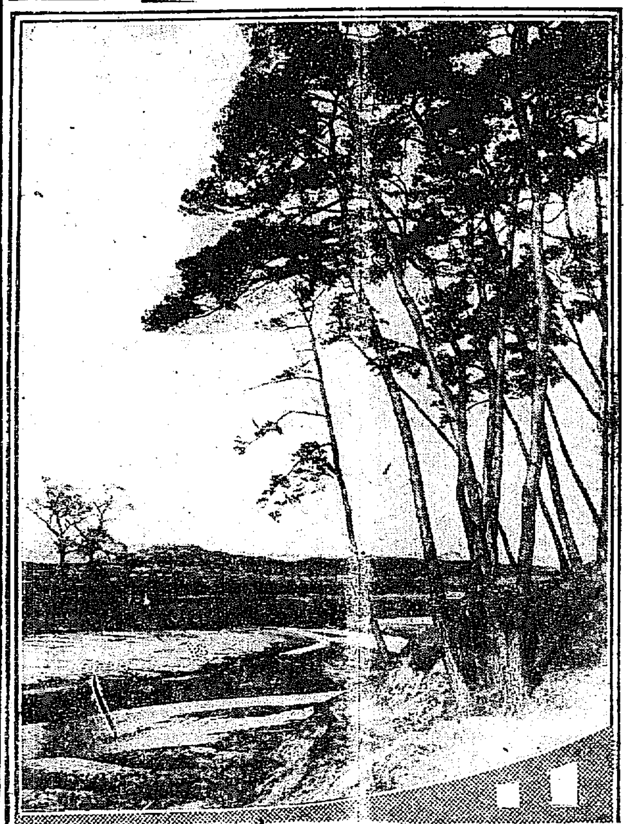
我社曩きに防寒建築案の懸賞募集を公表豫定の三月十五日を以て締切りと致候處、幸にして平面圖、正面圖、設計證明書等を具備せる專門的投稿數壹百四部の多數に上ぼり審査愈上應募原稿の堆きを看るに至り加之も應募者諸氏の住所地域が朝鮮全道に亘り猶ほ南北滿洲の要市と內地の幾部をも含み居るは畢竟一は防寒建築の研究が大陸發展の氣運旺盛なる現下最も研究を要する當面の緊急問題なる事と一は建築界從業の專門家諸士が熱誠賛同の結果と存じ我社の光榮欣幸之に過ぎずと致す處に御座候

然るに斯の如く精細緻密にして總て專門的の投稿一百餘部を完全に審査決定し發表に至る迄には案外の日子を要し猶審査員諸賢側に於ても確かに投稿者諸氏の誠意熱心を諒とせられ一層愼重審議せんものとの御厚情も有之、今一つは審査員中二三旅行中の方もあり到底豫定の四月一日を以て發表する事は不可能と相成乍遺憾茲若干日發表延期を斷行せざる可らざる仕儀と相成り多數應募者各位を始め一般讀者に謹告の次第に御座候。追而確定發表期日の儀は當相つき候節は直ちに再び紙上社告を以て御報道可申候に付何卒右樣御了承願留候。

京城日報社

あかるい春陽の郊外＝清凉里にて＝

◇わきてけふ逢阪山の霞めるは立ちおくれたる春や立つらむ◇



えんげい

△快漢ロバート　大正館にては二十九日より全部新寫眞と差替へるが今回の呼び物さなるべき寫眞は快漢ロバート全五巻にして米國サンハウザイ會社の傑作寫眞にして波瀾多き活劇なりさいふ其他の主なる寫眞は左の如し△寶島冬の想境△敎訓喜劇少年△新派家庭悲劇百合全三巻△新派劇快漢ロバート全五巻△舊劇忍術義助全四巻

△黃金館　二十九日より全部寫眞差替へたる由なるが舊劇探偵院長兵衛などは最も見物多かるべしさいふ其他の主なる寫眞左の如し△滑稽ヒンプルさん人形芝居△喜劇失なつた三牧堂△喜劇舊劇播隨院長兵衛全四巻六十

子セル　洋傘
何れも本年の流行品潤澤に取揃ひ申候
京城本町　三越呉服店

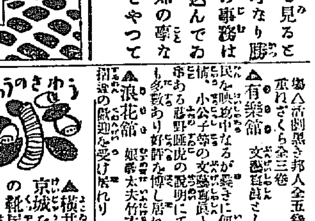
△有樂館　本府慰問の爲め來京せし邦人全五巻五千呎△新派悲劇亂れざくら全三巻文藝喜劇さして知られたる小國民を映寫中なるが殊に何處へ行く及び悲無情、小公子等の文藝寫眞と共に當地に來りしある飛野匪呪の說明にて少年少女連の見物も多數あり好評を博し居れり

△浪花館　娘義太夫竹本若千代一行にて掛連の歡迎を受け居れり

うきわう

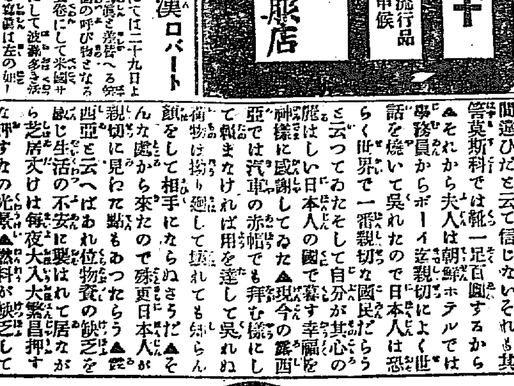
△橫井ブラガ夫人が京城を出發つ時本町の靴屋から合鐙の靴を一足買つたが値段が六圓だと云ふと吃驚した△高くて驚いたと思つたら餘り安いので驚いたそしてどうしても六十圓の間違ひだと云て信じないそれも其筈莫斯科では靴一足百圓するから△それから夫人は朝鮮ホテルではボーイ迄親切によく世話を燒いて呉れたので日本人は恐らく世界で一番親切な國民だらうと云つてゐたそして自分が其心の麗はしい日本人の國で暮す幸福を神樣に感謝してゐた△現今の露西亞では汽車の赤帽でも拜む樣にして頼まなければ用を達して呉れぬ荷物は拗り廻して壞れても知らん顔をして相手にならぬさうだ△そんな處から來たので殊更日本人が親切に見えた點もあつたらう△露西亞と云へばあれ位物資の缺乏を感じ生活の不安に襲はれて居ながら芝居丈けは每夜大入大繁昌押すな押すなの光景△燃料が缺乏して劇場閉鎖の議が持上つた時も多數の反對者が現れ遂に繼續開場と決しお蔭で市中は電力の供給が思ふ樣に出來ず電燈が滅じて行燈をたつたのでは文明の逆進だ

御待兼ね四月新音譜賣出



常磐津　夕霧所文章　常磐津松尾太夫
落語　だくだく　三味線文字兵衛
京唄　伊左衛門　柳家小さん
都山流尺八　八若　京都中尾都山部
端唄　小わし
義太夫　千代集　大阪菊
お伽歌劇　向ふのおばさん　鶴澤古粉太夫
唱歌　殖民の歌　北村鈴木のぶ子
新内　明烏　富士松加賀太夫
京城本町二丁目二九
日本蓄音器商會
電話一二八三　振替京城六八四

內科　呼吸器病　腸胃病
小兒科　婦人病
京城若草町大通り
今村醫院
電話一八三二番



アメリカ　製金張眼鏡
十ケ年保險附サック入玉付
一金四圓　送料十二錢
五ケ年保險附　同上
一金參圓五十錢　送料十二錢
京城大平通
金五十錢申受候
但し度數玉は何れも別に
京城日報代理部
振替京城三〇〇番

眼科專門
京城若草町（總監部通り若草町新道路中程）電一五五六
金井眼科醫院
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

郊外御散歩の好時期と相成候に付ては
東京すし、花見辨當
相始め申候
京城南山町
電話一一八五番
松園

御禮と新提供
去る二月一日「鐵の爪」上場以來昨日迄約二ケ月間連日殆んど立錐の餘地なき盛況を呈し斯界の新記錄を作り候是れ偏へに當館御愛顧の賜と深く肝銘罷り在り候尙今後共每週上場フヰルムは特に細心注意日活會社優秀品撰拔可仕候間不相變御來觀の榮を賜り度く乍畧儀紙上を以て御禮申上候
本日より特撰せる大寫眞は
米國サンハウザー社代表作品、東洋與行權利附
冒險大活劇　快漢ロバート　最長編五卷續
野村雅延　牧野翠邦　花井卓郎說明
稀代の寶石に呪はれたる窈窕の美少女卵形の金剛石に纒はる恐怖の謎を解かんとする快漢！千派湧き萬波翻る驚天の大活劇
◎日活會社京都派第二部特約品
成駒家雁次郎の高弟中村扇太郎一派出演
舊劇　摩利支天利生記　忍術義助　四卷
信州三技領主の血も淚もなき暴政、義民の憤起、摩利支天の利益を授かりし義助の一大奮闘を見よ
◎日活會社東京派山本嘉一吾妻猛夫一派出演
新派大悲劇　姫百合　四卷
親を捨て夫を捨て最愛の子迄捨てゝ己の慾望を滿さんとする奸婦……淚……是れ現代女の虛榮を戒めたる最大悲劇
全篇すべて血と……淚……
二十九日より上場
大正館

古著古洋服
諸物價騰貴の折柄々高價に買入可申候間多少に不拘電話又はハガキにて御報次第早速御伺致可候偷質札買受交換等も仕候
京城本町二丁目
あはじや
江頭衣服店
本店　電話一三二五番
支店　電話九一七番
店員入用　十二三歲より十五六歲迄四五名但市內に保證人を要す

◎移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記へ移轉致候に付此段謹告仕り候也
鐵鑛、亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛
右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區先願權）
金鑛石、亞鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石水鉛
右の鑛石多少に不拘買入
鑛山用諸機械器具及鑛石販賣
京城府御成町七番地
正巳鑛業所
熊谷忠直
電話長三二三番

百圓　建碑會
りん病　ばい毒
淋病藥王藥は治驗劑とも稱せられ醫學上最有効と鑑定せられたり
帝國醫科大學病院
梅毒藥王藥は驅梅內服藥として醫藥前述の諸藥配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の諸言に違へる事を發見せる時は百圓進呈
にせ物に注意（東京其他各地にドラッグあり）
大阪有田　製造元
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會鮮本部
取次　京城黃金町三丁目　大ドラッグ商會　釜山大廳町二丁目　大ドラッグ商會　元山本町三丁目　大ドラッグ商會
其他の藥店に販賣を不許
京城龍山等各地に僞物有御注意
南大門外停車場通　京城ドラッグ

購買入札
朝鮮總督府
大豆七百石外四點右購買ス詳細ハ大正七年三月二十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

拂下公告
京城府
一、牛血壹萬五千參百四拾五頭分
一、羊豚血五千百拾五頭分
右來三月三十一日午後二時入札ス

購買公告
朝鮮駐劄憲兵隊司令部
一、半紙。白紙。外貳拾貳點
詳細ハ本月二十七日朝鮮總督府官報及當部門前掲示ヲ見ヨ

公告
京城府
一、除糞用荷馬車　七百臺
右來三月三十一日午後三時入札

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百八十六回

座敷牢（二十四）

『若殿ばかりでない、一統が不審に存じ居る、恐縮ながらお面をお見せ下さるまいか』

定右衛門は再び頼んだ

『御覧下さるまでは無い、此の通り生きて居ります』

清之丞はいよ／＼強い聲で云た

『人間食物無くて生きる者があらうか、いかにしても不思議ぢや』

と定右衛門は考へたが、そこに居る番人に目を向けて『これ／＼、お前達の中に、食事を運ぶものがありはせんか』

『滅相もない、そんな事があつて何うなりませう』

『然し、清之丞まだ存命、そこに深い不思議がある』

『御重役ばかりでなく、一同の者皆な不思議がつて居ります』

『どうぢや、仆れたまゝで居るか』

『いゝえ、ぴん／＼として居ます、時々窓から面を出しますが、痩せ衰れてこそ居れ、大した衰弱はないように見受けられます』

『不思議ぢやの』

『不思議でございます』

『誰か食事を持つて參る者はないか』

『そんな人は一人もございません、御重役も御存じの通り、此の嚴重な見張を超えて、一歩でも近寄ることが爲きませうか』

『手前もそれを存じるが、どう考へても不思議、一粒の飯も食はず、一滴の水も飲まず三十餘日存命で居る者があらうか』

『これに在る／＼』

清之丞は窓の下から叫んだ

『在るが不思議ぢや、誰ぞ食物を運ぶものがあるので無いか、お身も恐しい罪を犯して、斯様な身に相成つた、すれば一日も早く死んで罪科を免れるが切ての辯解ぢや、それに長く命を繋いで、お上へお手數を掛けては濟むまい、何も彼も有様に申し上げては何うぢや、すれば手前に存じ寄りもある』

『御心切によく仰せ下された、實は手前も早く死にたいと存ずるが、生憎く弓矢神の御加護があつて、思ふように命が絶たれない、これには閉口致し居る』

『全體何うして生て居るのぢや』

斯う聞かれたとき、清之丞の胸の底に不圖考へ付いた事があつた、それは、

『一人でも好い、お家の御扶持で生きながらお家のお爲めを圖らない、惡人が亡ぼしたい』との望みであつた、お家の御扶持を食んでお家のお爲めを圖らぬ者は多くある、その中で清之丞が最も深く憎惡の目を付けて居たるは芳野であつた

『よし、此の時を利用して、芳野を亡ぼしてくれよう、それには此へ參るやさき、訪ねて來た人の名を覺れて居る』と考へた

『どうぢや、清之丞、罪科あればこそ斯様な責を受けるのぢや、早く白狀、靑天白日の身となつて、後世の冥利を願はぬか』と定右衛門は說き諭すように云つた

此の時清之丞は髮蓬々と生ねびた面を格の窓から見せて

『定右衛門殿、手前が惡かつた、手前の心得違ひであつた、今のお詞ですつかりと迷ひの雲が晴れ申した、手前も人間でござるもの、食事無うて命を助かる道がござらうか、實は情ある者から、毎夜食事をさし入れて貰れ申すのぢや』

『爾うあらう／＼、而てそれは何人ぢや』

定右衛門は進んで尋ねた

皮膚病　徽毒　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍

皮徽科

京城明治町二丁目（元町）

佐藤醫院（電話一七三番）

入院隨意（診察夜九時迄）

日曜祭日午後二時迄

□野火（三）　高須賀歌

野を燒ける光りほのかに蕗が森の斷場にうつり宵の月出づ

牛小屋に點突き出せし牛の顏火のあかりにもの喰める見ゆ

枯草に腹這ひながら吾が吞める煙草の赤き火を見つめけり

腹這ひて頭上ぐれば松を透き北漢山に雲動く見ゆ

扉のみな囁ふか谷をはさまして百舌と百舌とは絕えず鳴きけり

人里の近き大路に朝鮮鳥はゆり夕日明るきに群れてさはげり

夕靄の深くかゝれど山峽に人住みたれば灯のあかりせり

いさゝかの草を攜へ牛小屋を覗かんとする心なりけり

いさゝかの草を攜へ土堤の日を踏みて牛小屋に尋れの來れり

柵のそばに仔牛來れば草やるさまづ舌が指に唾つけにけり

西洋料理　すき燒

おいしい市京城第一との高評を博し居り候

南大門通　電話二五七一番　**カフエータイガー**

◇玉川のほとり　東京　高橋葉子

春淺き玉川村に家居して麥の芽生を淋しみにけり

玉川の里の冬田をあたゝかみほの／＼として物思ひなし

家あれば家ありて玉川の里の貞冬の日の暖かき

訪うて來む友さてもなき里住ひ日にげにのびる麥の淋しも

向ふ森の明るさ終日今日も暮りなけり

里住の井戸の邊ひのぬかるみに炎の後なわがしきにける

山畑の麥の畝間にのころ雪さむ／＼として夕もりにけり

春淺しこゝの藪かげわが下駄にふれてころがの石のさびしも

裏とけの道のながてを通り來てこゝの木の根に下駄をはたくも

杉葉がわが焚くなべに烟立ち夕さびしもよわ甲住ゐ

□　小々津芳郎

はつぶれば心沈みゆく朝がたのまさ越に見ゆる下ぎ山脈

朝ちかき朝なの靜けさな欲しなけばいさしみてけり

ふるさとは山にひゞきてその音の蹈らに隔ゆれのちかまし

◉國民中學會の壯擧　曩に生駒顧問文部督學官川田一中學校長清水府吉內南博士宗奎の下に金一千圓を投じて汎く天下に講義錄改良案を募集し斯界に一新紀元を畫したる大日本國民中學會にては右當選案により新學期の開始と共に講義錄の內容に一大改良を加へ獨學者の好伴侶たらんとするのみならず現在學窓に在る中學生に取りても智識の源泉たるべく理想的講義錄として其の品位と質とを兼ね備へんとす

◉安全第一の講義錄　大日本國民中學會にては從來斯界にその比を見ざりし空前の壯擧を以て金一千圓を提供し廣く江湖に講義錄改良に關する意見を募集したるが今回その審査終了の結果來るべき新學期と共に右當選案に基きその內容を全然改訂し中學卒業同等の學力と教養とを與へ以て本邦唯一の信用ある中學講義錄たらんことを期すべしと

新刊紹介（到着順）

▲文章俱樂部（三の四）　文章の情味（窪田空穗）の新研究（三篇）原稿の俳句（寄書入）小說　谷崎精二　英詩新釋、文藝消息、前月文章史、文壇風聞記、文壇百生活等　十錢牛込矢來中の丸新潮社

▲日の丸（三の四）　附錄に切拔き活動寫眞物あり美き新式の繪本として坊ちやん孃ちやんの欲しがりさうな雜誌なり（十三錢、東京澁谷エビス文教社）

▲コドモクラブ（一の四）　少さい子供の爲めに小型にして値段も安くして發行したる是れも綺麗なる繪本なし（六錢東京澁谷エビス文教社）

▲木太刀（一六の三）　俳句雜誌にして俳句英譯（和田垣謙三）英譯はむづかしい話題紅葉山人からの手紙（小波）朝鮮より（小廣）烏兎、然の國（羅花）雜詠、麥人選等　二十八錢東京牛込築地町二

▲綴方十二ケ月三月之卷（蘆田惠之助著）　二十二錢東京牛込白銀町育英書院

▲子寶（早教育問題號）　愛兒家の絕好伴女と稱榜す（廿錢東京京銀座二の一子寶俱樂部）

結者の領分

▲京城の商人の內には立派に商業道德を守つて營業して行く者が尠なくはないが中には堂々たる大商人でありながら不埒な方法で暴利を貪つてゐる者も尠なくない、一々名前やその內幕を素破抜いた時の彼等の迷惑を察して名前丈は列擧するのを控へるが宜しく反省すべきだらうと思ふ（赤電燈）▲廿六日の夜黃金町三丁目の交番所で番地を尋ねたら巡査補が出て至極丁寧に敎へて吳れた（感謝生）▲朝鮮に參り諸官廳等に所用ありて行くに第一番に感ずるは受付諸君の態度なり諸君其の官廳又は會社を代表しての行爲なりと解して今少し普通人に對する溫容なる態度に改むるの考へなきか而して京城郵便局切手口の禿チビさん東拓受付の老人京城日報の受付の人達の親切さは、諸君の學ぶ可きの事であると信ず（岡末生）▲曙町の女按摩（五十四五歲餘り）は善男善女を瞞著し患者に對し藥物を調合し現に自分も曾つて痳病にて同人に針灸治療を依賴したるに投藥し、其他齒痛等に同樣投藥せり右は營業法違反にあらずや（服藥迷惑生）

山縣五十雄　村上唯吉共著　**富の道しるべ**　價十五錢　郵税二錢

京城太平通　振替京城三〇〇番　日報社代理部

下關期米

[illegible]

◉船舶提供經過

提供細目未決定

提出し二十五日遞信省は提供船協議に關する會議を[illegible]したる結果二十六日愈々外務省等の協議を爲し[illegible]

▲提供船主の條件　而して今回の提供船の條件に就ては從來個々の決定を見たるもの、如く[illegible]なるが其內容の大略は次の如し即ち（第一）社船と社外船との差別的待遇は之を除かれたきこと即ち[illegible]二十七圓五十錢を供し社船に米國[illegible]定料率の四十志のみなるは不公[illegible]と云ふにあり、傭船料も社外船に分とすれば六十圓餘を增加し得る次第なり、故に保險金に就ては別段の異議なきも唯二十年以上の船の引渡し準備其他提供[illegible]びに船員の待遇に就いて充分の考量を致されたきこと（第五）船舶並に社外船の各種の希望に對して政府は[illegible]

▲決定は數日後　而して社[illegible]

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の　ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は內容を祕して徒らに萬能を說くが如き賣藥にあらず

▲內容の祕してある藥を安心して用ひられるか▼

如何なる藥を如何なる分量で調合してあるか分らず隨て責任を明かにせぬ賣藥は如何程効能を吹立ても決して安心して用ひられない。然るにミツワ家庭藥のみは文明的に處方を公開するだけに其處方は無論的確で、一々說明書を添へて、內容の藥の名稱と分量を擧げ、奏効ずる理由を明瞭に說き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる。

▲中毒の危險ある藥を安心して用ひられるか▼

藥劑の中には其の性質が劇烈で、往々中毒作用を現はすものがある、元來劇烈でなくても原料藥品の不純、製劑の粗雜、容器の不適等の爲に、意外の中毒を起すことがある、然るにミツワ家庭藥は性質緩和純良効力一定不變の藥品を用ひ、製劑精確容器完全で、中毒の危險は更に無い。

特長

一、處方を公開し內容を明示す。
二、處方的確にして奏効顯著なり。
三、性質劇烈ならず中毒作用の危險更に無し。
四、藥品純良にして効力一定不變なり。
五、製劑精確にして變質の憂なし。
六、容器完全にして風化潮解することなし。
七、包裝嚴重にして携帶至便なり。
八、內用藥は總て錠劑なれば服用容易なり。
九、日常起り易き病に對し汎く應用せらる。
十、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

▲變質する藥を安心して用ひられるか▼

如何に純良の藥品を調合したものでも、紙包にして置くと風化潮解して性質が變り無効有害になることがある。然るにミツワ家庭藥は優秀の藥品を撰び精確の方法で製劑し內用藥は總て錠劑とし容器は罎を用ひ且嚴重に包裝してあるから如何に永く保存しても變質する處は毫も無い

▲常にミツワ家庭藥を備へねばならぬ▼

怪我してから又病氣に罹つてから藥を求めに行くのでは到底間に合はず不慮の禍を招くことがある斯かる不幸を免れるには一々處方を公開して責任を明かにし藥品純良製劑精確容器完全包裝嚴重、變敗する憂なく永久の保存に耐るミツワ家庭藥を平生家庭に必ず備へ置き旅行の時にも忘れずに携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

ミツワ家庭藥の効用と定價（內地以外は關税運賃を加ふ）

品名	効用	定價
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入 五拾錢　五百錠入 貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入 七拾錢　五百錠入 參圓
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	三十錠入 拾錢　百錠入 貳拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	三十錠入 拾五錢　百廿錠入 五拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し胃腸病を豫防す	三十錠入 拾五錢　七十錠入 參拾錢
ミツワ緩錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	四十錠入 拾錢　百廿錠入 貳拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入 貳拾錢　六十錠入 四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲・絛蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入 十五錢　六十錠入 三十錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身興奮・口中病豫防	紙容器入 拾錢　壜入 參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	三十錠入 貳拾五錢　百錠入 七十錢
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	三十錠入 拾五錢　百錠入 四拾錢
ミツワ鎭靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入 壹圓　貳拾錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錢入 五十錢
ミツワ制酸錠	酒の過飮・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎭咳	百錠入 壹圓五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入 拾錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・衂血等	壜入 貳拾五錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひる	壜入 拾五錢
ミツワ神經痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入 參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚糜爛	紙函入 拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入 拾錢
ミツワ殺蟲液	蚊蚤等總て蟲に螫されたる場合	壜入 拾錢
ミツワ養毛液	脫毛雲脂過多を防ぐに用ひる	壜入 五拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜皸・裂水蟲濕・水蟲	硝子器入 拾五錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入 壹圓五拾錢
ミツワ治痳錠	痳疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入 壹圓五拾錢
ミツワ痳疾洗滌液	痳毒性尿道炎一般に用ひる	洗滌器附壜入 五拾錢
ミツワ痔座藥	痔核・痔瘻・門裂痔等痔一切	六個入 參拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮內外膜炎・腟炎等	六個入 四拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・陰臭・手汗・足汗等	壜入 貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬外に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入 貳拾錢

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
ミツワ人參葡萄酒
ミツワ規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元　◎（登録商標）　丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋

電信略號（○ミヤ）　振替口座東京七一〇番　電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番